

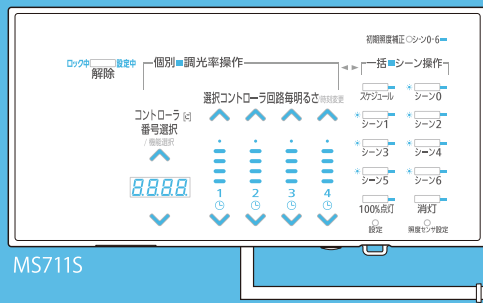
ローカル自動調光システム

MILCO.S [ワイヤレスタイプ]
コンセント式壁付コントローラ
MS711S

本ガイドブックは
製品の取扱説明書と併用してご活用ください。

スタートアップガイド

複数接続使用 コネクト編



コントローラを
2台以上連動して
使用する場合はこれ！

■構成の確認

複数のMILCO.Sコントローラが接続され、使用されていますか？

チェック

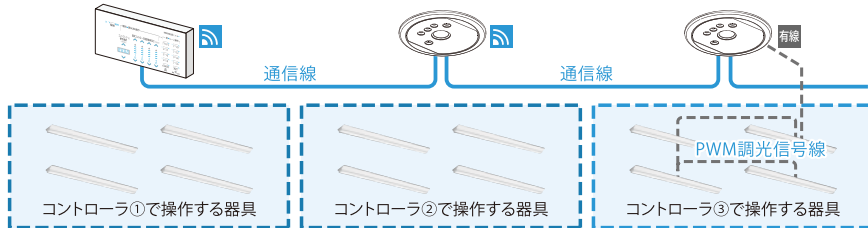


○コントローラ複数台使用例

無線コントローラ①

無線コントローラ②

有線コントローラ③



※接続コントローラは最大10台まで



他のMILCO.S制御機器と接続しない場合は別冊の「スタンドアロン編」をご覧ください。

本書では、無線機能付コントローラ※1を「無線コントローラ」、照明器具とコントローラをPWM調光信号線で有線接続するコントローラ※2を「有線コントローラ」と記載しています。

※1: MS711S、MS691S ※2: MS681S、MS682S、MS683S、MS684S

1 はじめに

■ 手順

コントローラの種類によって、機種設置の方法や手順が異なります。
接続コントローラ機種の組み合わせを確認し、4パターンから選んだ後、

1 はじめに

事前準備と使用コントローラ組み合わせ確認

無線

コントローラのみを接続

○壁付形 無線



MS711S



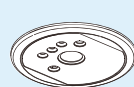
MS711S

※最大10台まで

○壁付形 無線 + 天井埋込形 無線



MS711S



MS691S

※最大10台まで

無線

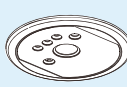
+ 有線

コントローラを接続

○壁付形 無線 + 天井埋込形 有線



MS711S



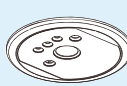
有線
MS681S
MS682S
MS683S
MS684S

※最大10台まで

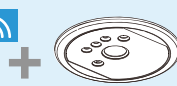
○壁付形 無線 + 天井埋込形 (無線 + 有線)



MS711S



MS691S



有線

MS681S
MS682S
MS683S
MS684S

※最大10台まで

必ず → の番号の手順で本紙を読み進めてください。

無線コントローラ 有線 有線コントローラ

2 機器設置作業

3 運用設定

4 運用

アドレスと回路の設定
点灯確認と無線システムID設定

基本設定

その他の設定 (任意)

呼出・再生

必要オプション



MS201

機器設置作業 p.9へ

必要オプション



MS201

必要オプション



MS201



MS213

機器設置作業 p.9へ

必要オプション



MS201



MS213

・シーン作成
・デイリースケジュール作成

運用設定

p.24へ

・拡張設定

- ・スケジュール
シーン拡大
- ・スタンドアロン、
コネクトモード

運用設定 p.27へ

・応用設定

- ・照度センサ設定
(照度センサ搭載の
コントローラと組み合わせ時)

必要オプション



MS201

・週間スケジュール設定

必要オプション



MS213

運用設定 p.27へ

・一括シーン呼出操作
・個別調光率操作
・スケジュール実行

運用

p.33へ

必要機器の確認

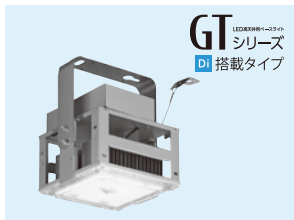
チェック

ワイヤレス接続のために、コントローラ以外に必要な機器 (p.2)
は全てお手元にございますか？



● 無線調光対応LED器具

一部の器具は無線調光ユニットが既に搭載されています。



無線調光ユニットを取り付けるために、デジタルインターフェース **Di** が搭載された器具が必要となります。**Di** 搭載の照明器具については、カタログをご参照ください。

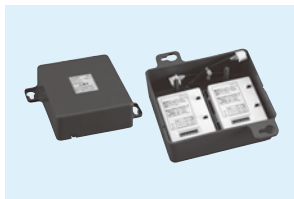


おねがい

調光に無線を用いない天井埋込形コントローラ(有線)を接続して使用になる場合は、有線接続の箇所においてPWM信号対応連続調光器具が必要となります。

● 無線調光ユニット

LED照明器具1台あたりに1つ必要です。無線調光ユニットはLED照明器具の形名で適合が異なりますので適合した無線調光ユニットをお選びください。



● リモコン

設定箇所に対して1台、もしくは操作に応じ必要数をご用意下さい。有線コントローラ、無線コントローラで使用するリモコンは異なります。p.2をご覧ください、必要となるリモコンをご確認ください。





おねがい

コントローラの取付場所について

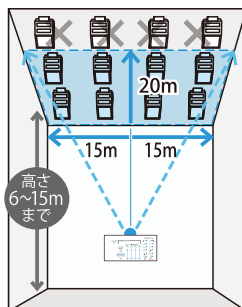
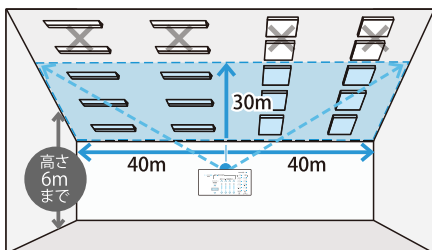
コントローラから出る無線信号の届く範囲でなければ、照明器具が操作できません。また、コントローラから照明器具までの高さによって、無線の届く範囲が変わります。範囲内に、無線で操作したい全ての照明器具が入るよう、コントローラの取付場所を調整してください。取付場所は、遮へい物が無く見通しの良い壁面に取り付けてください。詳しくは取扱説明書をご覧ください。

無線の届く範囲について

● 壁付形コントローラ

Myシリーズ (天井高6mまで)

無線の届く範囲：左右に40m、操作面側に30m



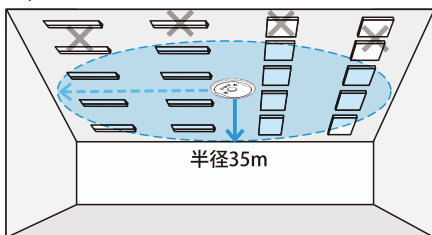
GTシリーズ

(天井高6~15mまで)

無線の届く範囲：
左右に15m、
操作面側に20m

● 天井埋込形コントローラ

Myシリーズ 無線の届く範囲：半径35m

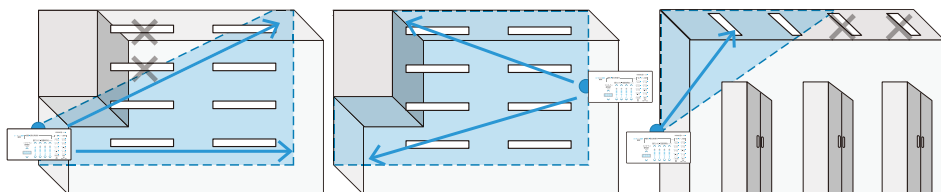


お知らせ

無線が届かない場所に設置した照明器具は操作できません。

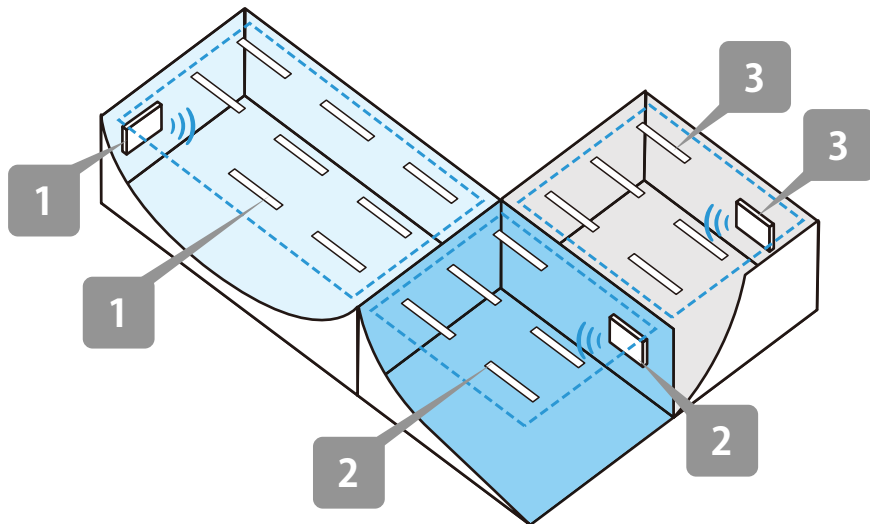
見通しの良い場所への取り付けについて

遮へい物があると、無線が届かない。



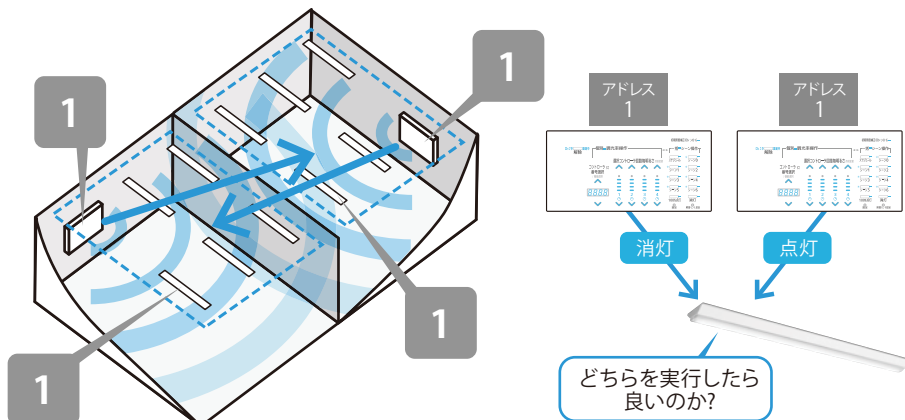
■「アドレス」とは何ですか？

複数のコントローラがある際は「無線アドレス(コントローラ番号)」を割り当てることで各コントローラの操作対象となる器具を指定します。アドレスは最大10(1～10まで)を設定することができます。“アドレス1”とされた器具は、“アドレス1”のコントローラから発信された命令のみを受け入れ、実行します。



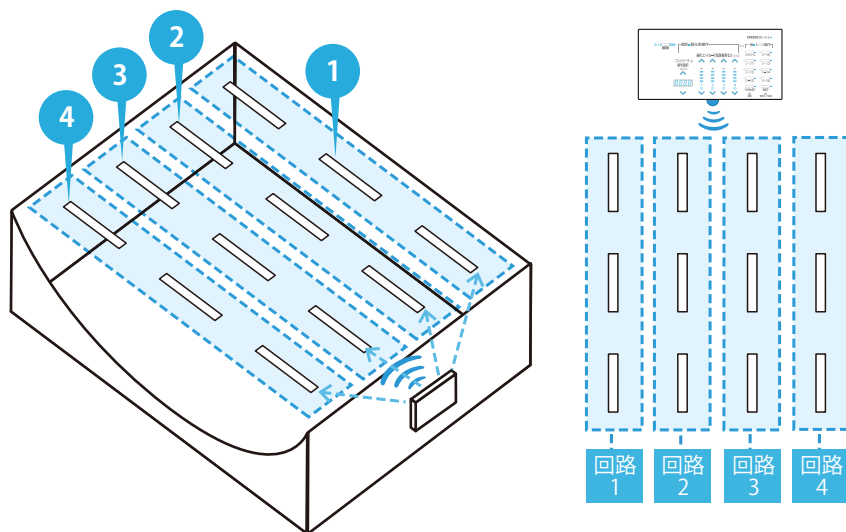
「アドレス」をあらかじめ設定しないと…

空間内に同じアドレスが重複して使用されるおそれがあります。同じアドレス番号コントローラの無線到達範囲が、重なって器具に到達すると複数の無線命令を受け、照明の予期せぬ明滅などの動作不良を引き起こす要因となります。



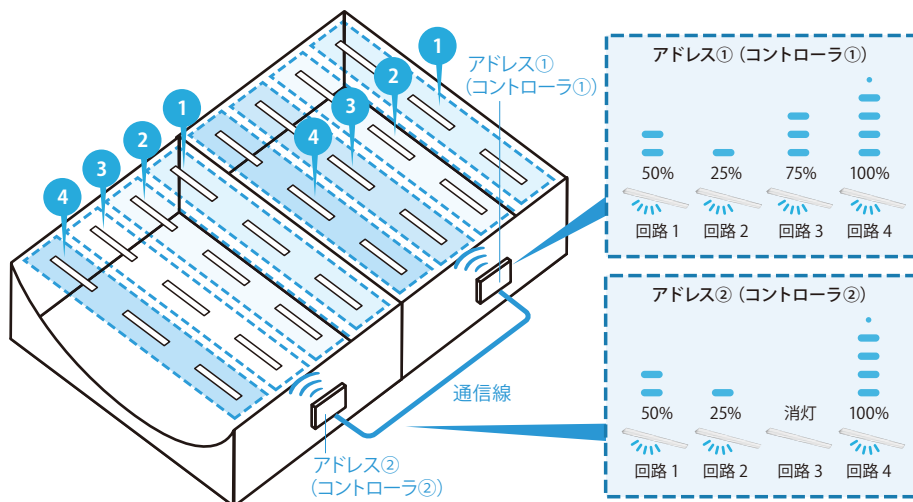
■「回路」とは何ですか？

ひとつのコントローラの中で、更に細かく各々の明るさを変える事ができる系統の単位を「回路」と呼びます。MILCO.Sシリーズの製品群には、ひとつのコントローラで4系統の回路を制御できるものと、2回路のものがあります。



「回路」を活用すれば…

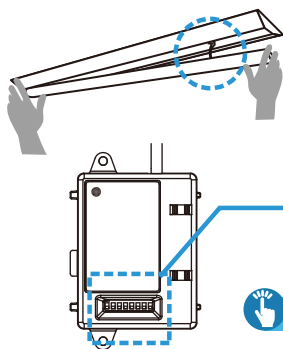
たとえば本器 (MS711S) を2台使えば、8回路の器具群を設けそれぞれの明るさを変え点灯させることができます。



■「アドレス」「回路」の番号設定は 機器のスイッチ操作で行います

器具に搭載される無線調光ユニットと、コントローラの「ディップスイッチ」に、精密ドライバー等を使用し、アドレス及び回路番号の割り付けを行います。コントローラ側、及びその制御対象となる照明器具側のアドレスを合致させます。

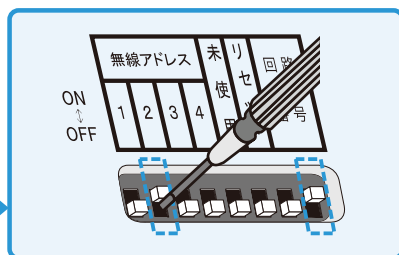
●照明器具側に搭載された無線調光ユニットのディップスイッチ部(例)



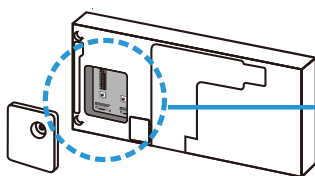
アドレス番号:2
回路:2の場合



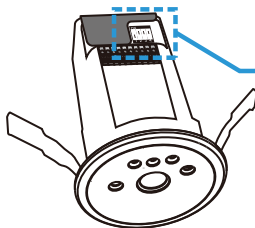
器具側(無線調光ユニット)には、アドレス番号に加え自身の属する回路番号を定めます。



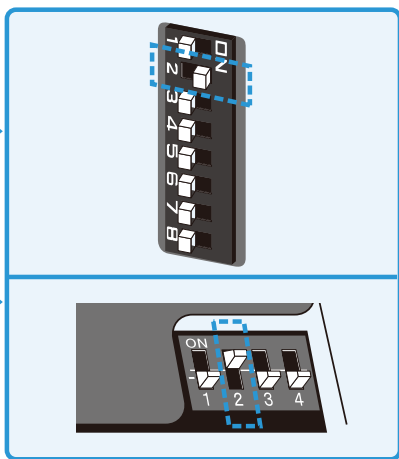
●無線コントローラ側のディップスイッチ部(例)



アドレス番号:2
の場合



アドレス番号:2
の場合



有線タイプのコントローラには、コントローラと器具を関連付けるためのディップスイッチによる設定はありません。ただし、コントローラの識別のためアドレス番号を付与する必要があり、ワイヤレスリモコン (MS213) による設定を行います。(p.19)

■アドレスに「システムID」を加え確実な紐付けを行います



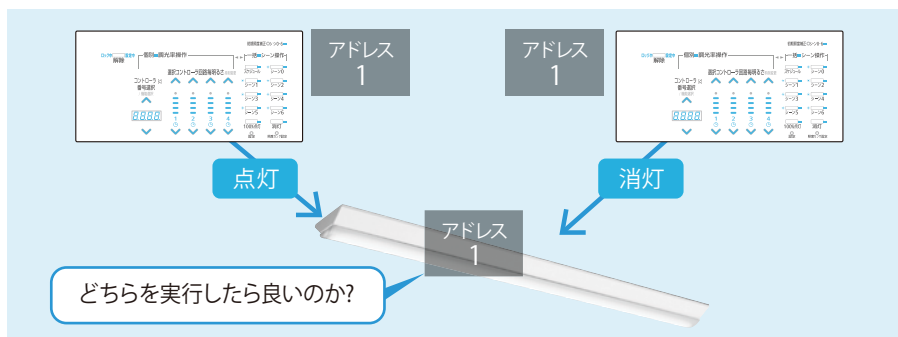
おねがい システムID設定は必ず必要です

コントローラと照明器具に搭載された無線調光ユニットには、ディップスイッチ操作によって、必ず「1」～「10」いずれかの無線アドレス番号が与えられており、無線操作対象器具の識別を行います。

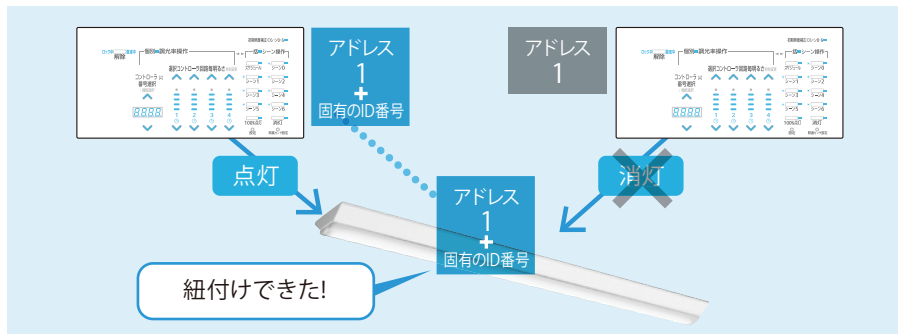
しかし、自器と同じ無線アドレスを持つコントローラが、周囲に2台以上存在すると器具はどのコントローラからの命令を受ければ良いか判断できず、誤作動します。（遠方に設置された同一アドレスの対象外コントローラから、何らかの原因で器具に電波が届いたり、将来の近隣エリア工事時に、他事業者によって同一アドレスのコントローラが設置されるケースなどが考えられます。）

システムIDは、コントローラ個体が持つ一つ一つ異なった独自の番号です。この固有のID番号を1～10のアドレス番号に加えて器具に紐付けすることで、以後他のコントローラの命令による誤作動を防ぐための初期設定作業が「システムID設定」となるため、必ず行ってください。

アドレス設定のみ

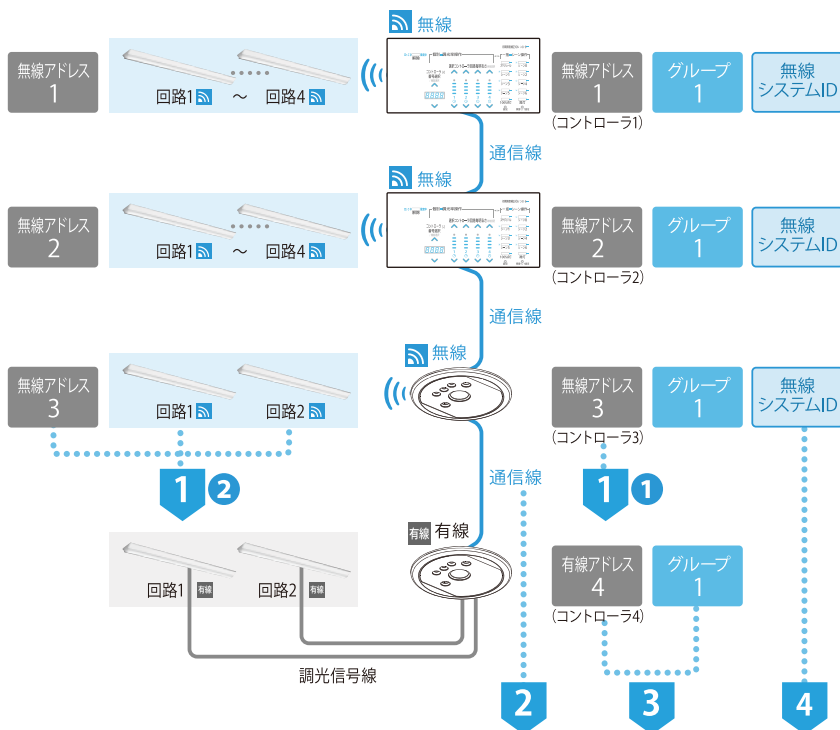


システムID設定付与



■ 接続機器の設定手順

複数コントローラの接続構成例

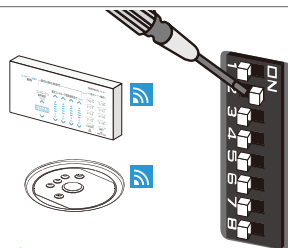


この構成をセットアップして行きます。

1 無線 無線コントローラと無線調光ユニットのディップスイッチを操作します p.11~>>

① 無線コントローラのアドレス番号設定

無線コントローラのアドレス番号(1~10)を定めて設定します。無線コントローラはディップスイッチの操作で、1台1台に対して設定を行います。接続されるコントローラのアドレス番号は有線・無線を通じ重複することの無いように注意してください。



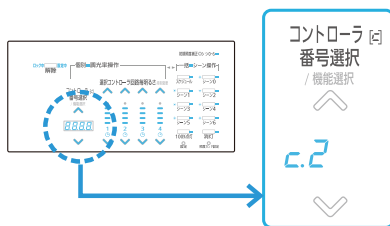
競合に注意!

無線アドレス 7

競合

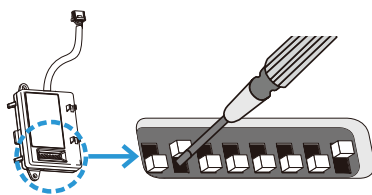
有線アドレス 7

アドレス番号は、使用時にコントローラ番号として表示されます。「アドレス2」が割り当てられると「コントローラ2」となり、コントローラ番号選択操作時には、**C.2**と表示されます。



②無線調光ユニットのアドレス番号・回路番号設定

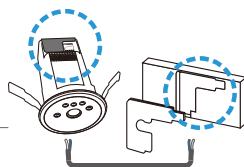
各コントローラに対応する、無線調光ユニットのアドレス番号 (1~10) ・回路番号を設定し、器具に装着します。ディップスイッチの操作で、器具1台1台に対して設定を行います。



2

無線 有線

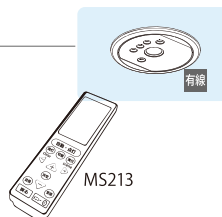
コントローラ間を通信線で接続します p.17~>>



3

有線 有線コントローラのアドレス番号とグループ番号を設定します p.19~>>

有線コントローラの設定は、ワイヤレスリモコン (MS213) で行います。無線アドレスと重複しないように有線アドレスを設定したあと、グループ番号 (グループ:1) を設定します。



4

無線 無線システムID設定を行います p.21~>>

システムID設定は、コンパクトリモコン (MS201) で行います。固有のコントローラと器具を紐付けし誤作動を防ぐ初期設定作業のため、必ず行う必要があります。



1 無線コントローラと無線調光ユニットのディップスイッチを操作します 無線

コントローラと、器具に搭載される無線調光ユニットの「ディップスイッチ」を、精密ドライバー等を使用し操作、アドレス及び回路番号の割り付けを行います。コントローラ側、及びその制御対象となる照明器具側のアドレスを合致させます。

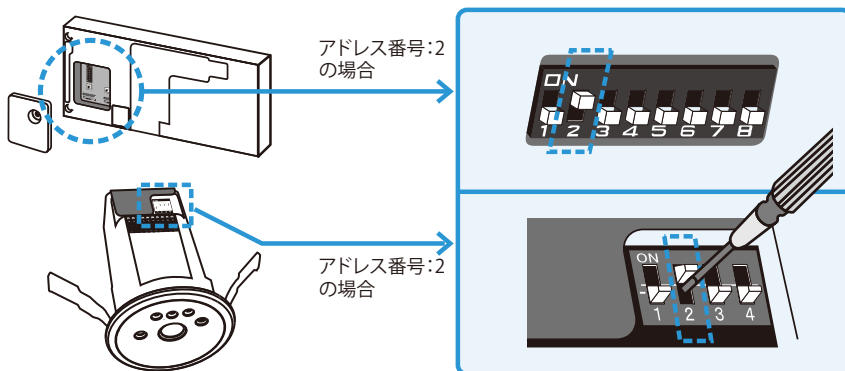


おねがい



① 無線コントローラのアドレス番号設定 無線

無線コントローラ側のディップスイッチ部 (例)

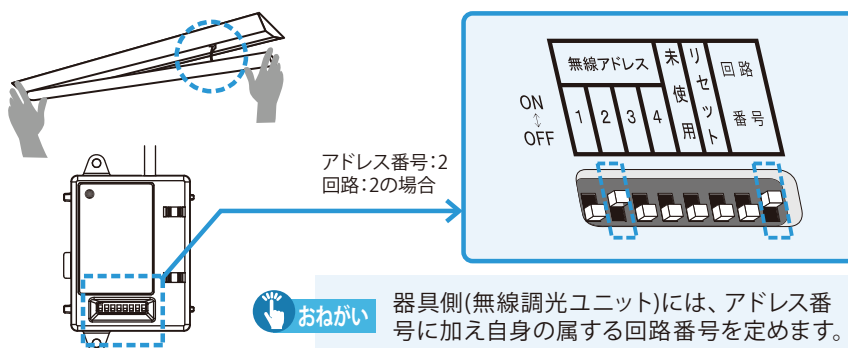


おねがい

有線タイプのコントローラには、コントローラと器具を関連付けるためのディップスイッチによる設定はありません。ただし、コントローラの識別のためアドレス番号を付与する必要があり、③ (p.19) でワイヤレスリモコン (MS213) による設定を行います。

② 無線調光ユニットのアドレス番号・回路番号設定 無線

照明器具側に搭載された無線調光ユニットのディップスイッチ部 (例)



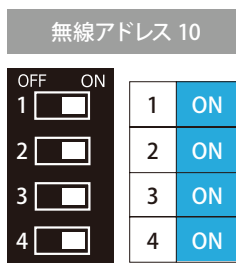
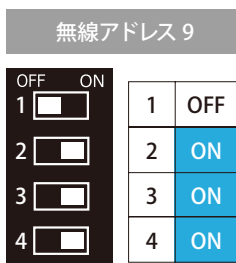
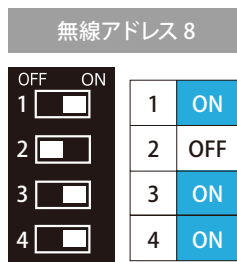
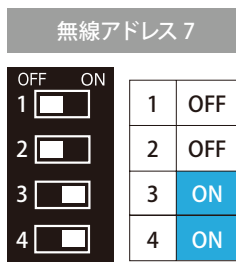
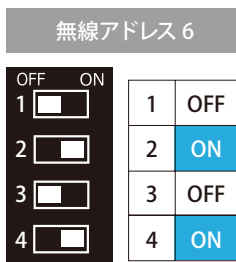
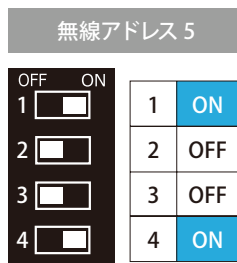
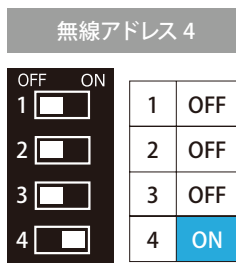
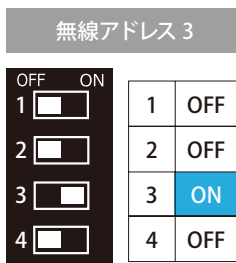
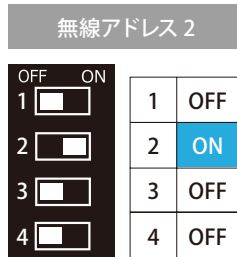
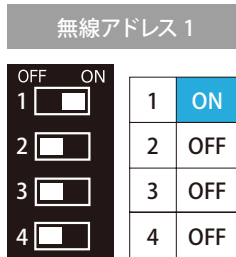
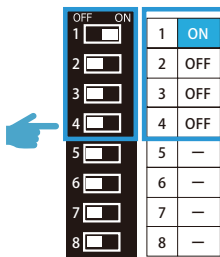
おねがい

器具側(無線調光ユニット)には、アドレス番号に加え自身の属する回路番号を定めます。

○無線アドレス番号(コントローラ番号) 設定一覧



工場出荷時は「無線アドレス=1」に設定されています。

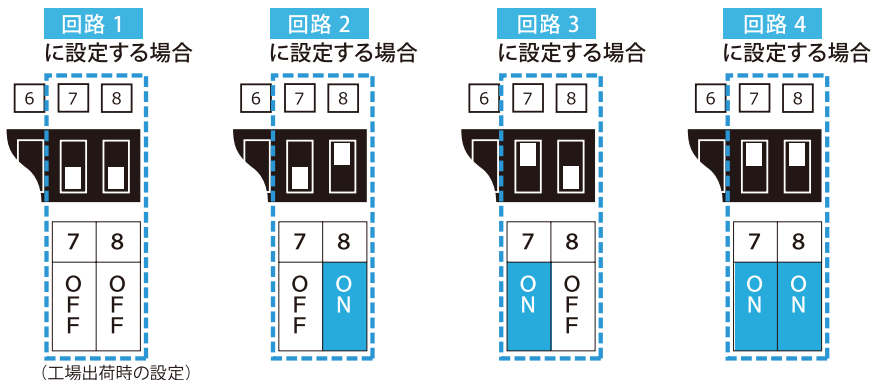
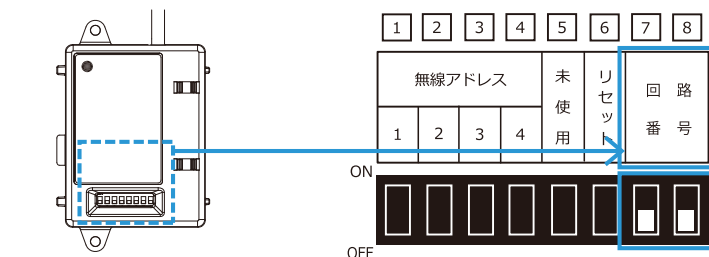


○回路の設定方法

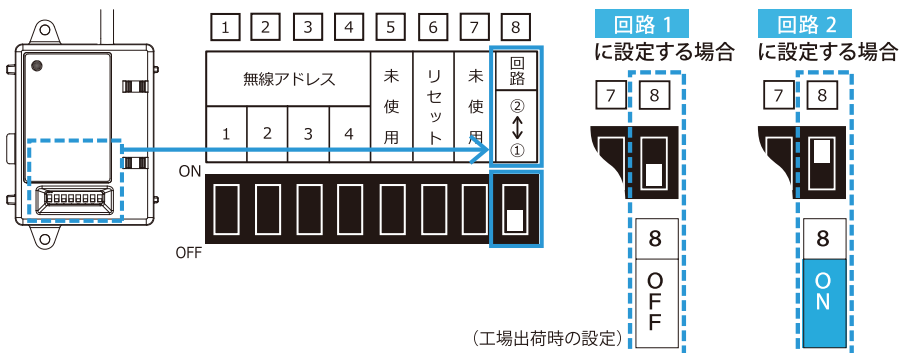
全ての無線調光ユニットで回路を設定します。(p.6「『回路』とは何ですか?」)
明るさを変えたい器具群毎に回路番号を設定してください。
回路の設定は無線調光ユニットにある「ディップスイッチ」で行います。

無線調光ユニット

4回路の場合 回路の設定では右端2つのスイッチ (7・8) のみを使用します。

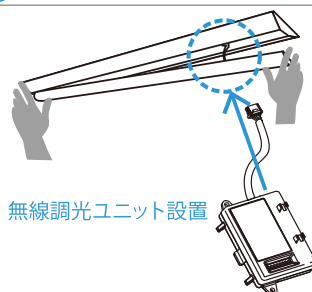


2回路の場合 回路の設定では右端のスイッチ (8) のみを使用します。



3 無線調光ユニットの取り付け 無線

無線アドレスと回路の設定が終わった無線調光ユニットを、照明器具に取り付け、施工します。無線調光ユニットの取付方法詳細については、それぞれの製品に同梱されている取扱説明書をご覧ください。

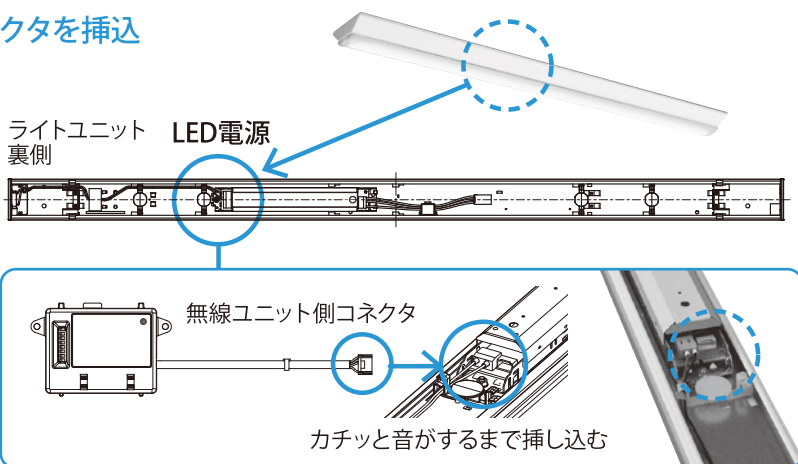


○各機種における無線調光ユニットの取り付け例

MY LEDライトユニット形 ベースライト シリーズの場合

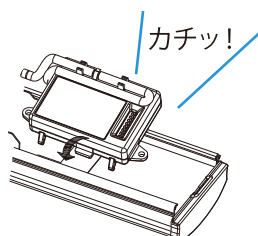
ライトユニット裏側にある、LED電源側面のコネクタに無線調光ユニット側のコネクタをカチッと音がするまで挿し込みます。コネクタ接続後は、無線調光ユニットをライトユニットに固定してください。

1. コネクタを挿込



2. 無線ユニットを固定

コネクタを挿した無線調光ユニットのツメをライトユニット板金の切欠に挿し込み、「カチッ」と音がするまで押し込みます。



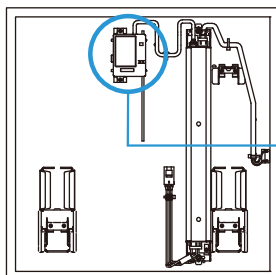
MY^{LEDライトユニット形 ベースライト}シリーズ [パネルタイプ] の場合

Myシリーズ [パネルタイプ] については無線調光ユニットがライトユニットに取り付けられた状態で出荷されます。

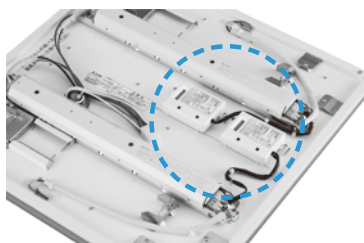
無線調光ユニットの取り付け作業は不要です。

無線調光ユニット1台搭載タイプ

裏側

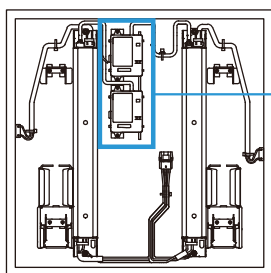


無線調光ユニット



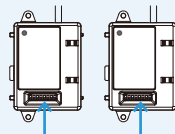
無線調光ユニット2台搭載タイプ

裏側



無線調光ユニットは、1台搭載と2台搭載の2タイプがあります。

無線アドレス、回路を2台とも同じ番号に設定してください。



GT

LED高天井用ベースライト

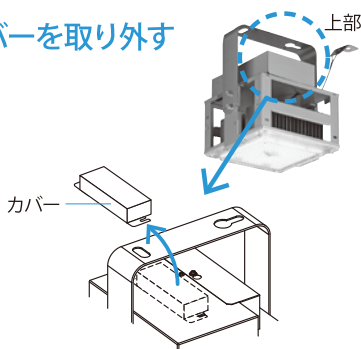
シリーズ の場合

本体上部にあるカバーをはずし、コネクタに無線調光ユニット側コネクタをカチッと音がするまで挿し込んでください。

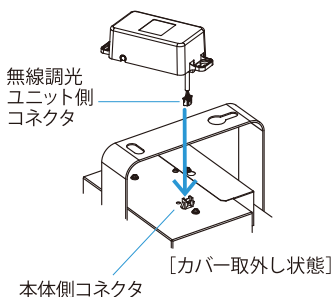
コネクタを挿し込んだあとは、無線調光ユニットを付属のビスで本体に固定します。

無線調光ユニット1台搭載タイプ

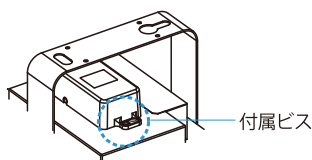
1. カバーを取り外す



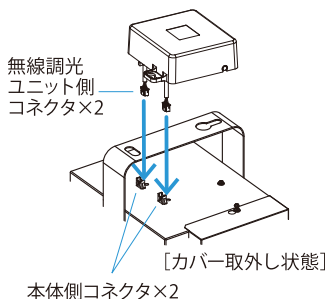
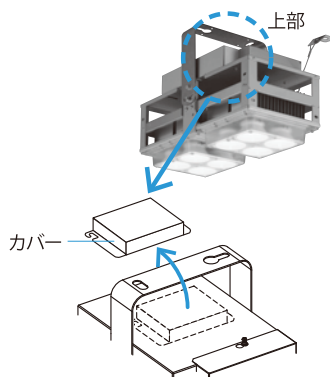
2. コネクタを挿込



3. 無線ユニットを固定



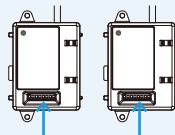
無線調光ユニット2台搭載タイプ



おながい

無線調光ユニットは、1台搭載と2台搭載の2タイプがあります。

無線アドレス、回路を2台とも同じ番号に設定してください。



2 コントローラ間を通信線で接続します

無線

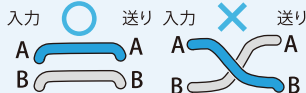
有線

コントローラを信号線で接続します。両端のコントローラには壁付けと天井埋込形でそれぞれ異なる終端処理が必要となります。通信線接続端子台には、電源線の接続を行わないようご注意ください。



おねがい

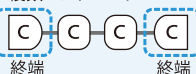
通信線の極性に注意



おねがい

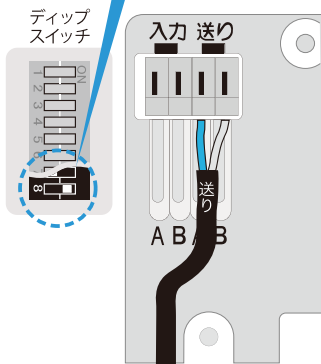
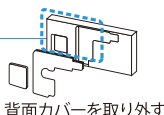
終端処理が必要

複数コントローラ



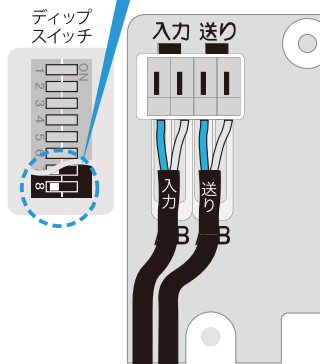
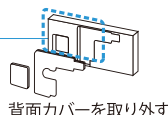
壁付形/終端

終端コントローラ
「8」をONに変更



壁付形/中間

中間コントローラ
「8」をOFFのまま

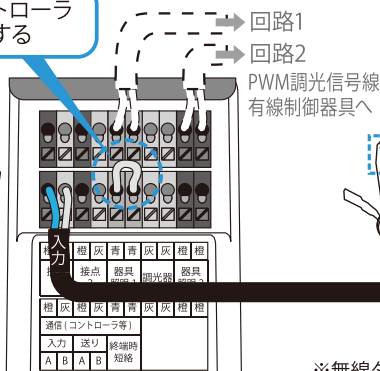
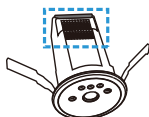


CPEV線, FCPEV線: $\Phi 0.9\text{mm}$ 1P, $\Phi 1.2\text{mm}$ 1P
接続コントローラ総配線長: 100m以内



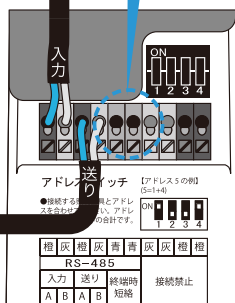
天井埋込形/終端

終端コントローラ
短絡する



天井埋込形/中間

中間コントローラ
短絡しない

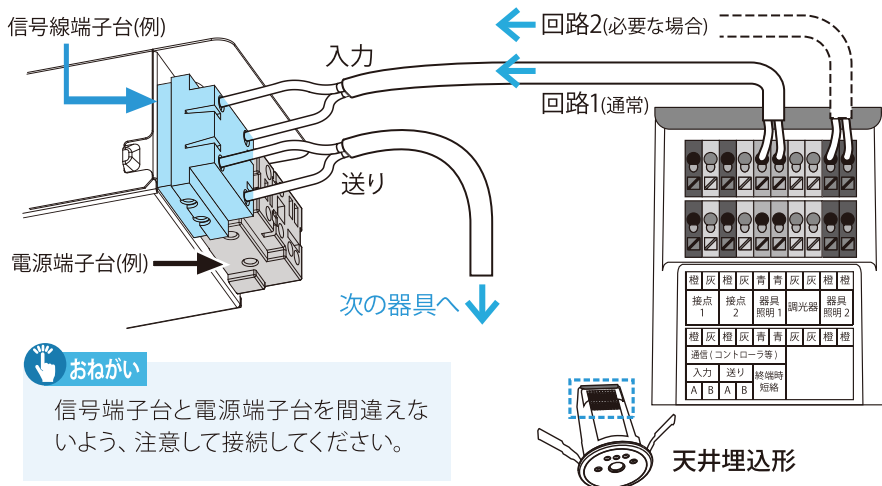


※有線タイプの例

※無線タイプの例

●PWM調光信号線の接続 有線

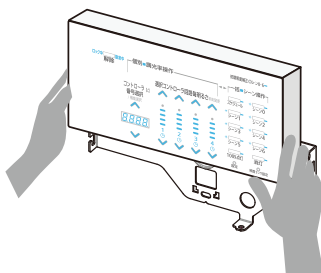
コントローラと器具間をPWM調光信号線にて接続します。
器具ごとに端子台の形や取付方法が異なりますので、各製品取扱説明書に記載された方法に従ってください。



●コントローラの施工 無線 有線

無線アドレス設定及び通信線による接続が終わったコントローラを取り付けます。取扱説明書に記載された方法に従ってください。

壁付コントローラ



天井埋込形コントローラ

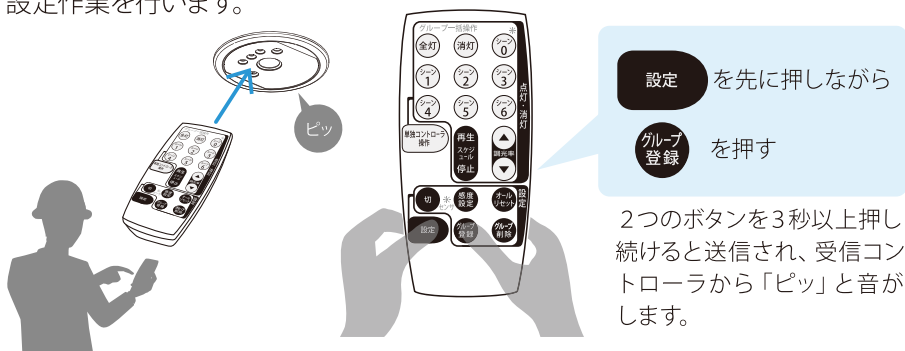


この時点で、有線コントローラのアドレスはまだ設定されていません。

3 有線コントローラのグループ番号とアドレス番号を設定します 有線

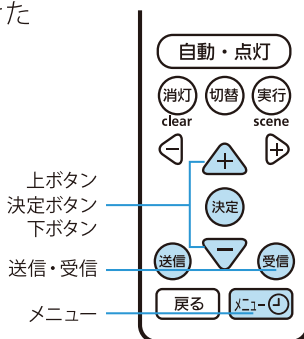
① 有線コントローラのグループ番号設定 有線

複数のコントローラを同時に操作する際に、通常はコントローラにグループ1を設定します。工場出荷値では無線コントローラはグループ1、有線コントローラはグループ0となっており、有線と無線を接続しても連動しません。このためコンパクトリモコン (MS201) を使い、全ての有線コントローラ1台1台に対し、「グループ1」設定作業を行います。

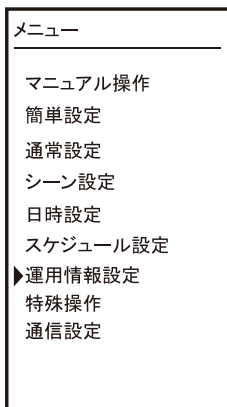


② 有線コントローラのアドレス番号設定 有線

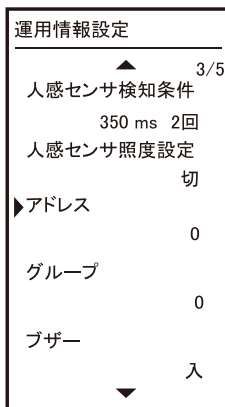
ワイヤレスリモコン (MS213) を使い、コントローラに接続された他器と競合しないよう、1～10の中からアドレス番号を設定します。リモコンを赤外線通信部に向け操作を行ってください。操作中はリモコンとコントローラで相互に赤外線送受信を行いますので、リモコンはコントローラに向けたままにしてください。



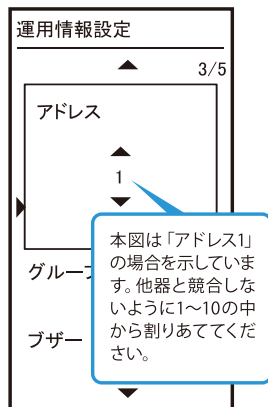
① メニューボタンを押してメニュー画面を呼び出し、 下ボタンを押して運用情報設定を選択して 決定ボタンを押します。



② 運用情報設定画面で、 下ボタンでアドレスを選択して 決定ボタンを押し、ポップアップ画面を表示させます。

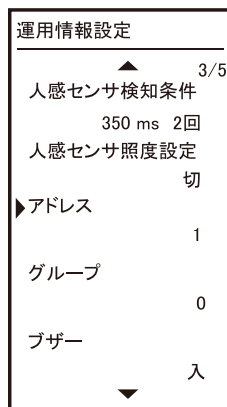


③ ポップアップ画面で、 上ボタンでアドレスを選択して 決定ボタンを押し、ポップアップ画面を閉じてください。

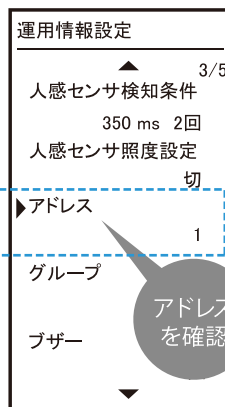


アドレス番号とグループ番号が設定されたか確認

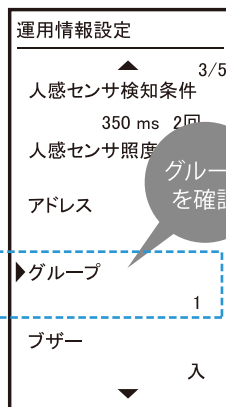
④ 運用情報設定画面で、アドレスを選択したままリモコンをコントローラに向けながら 送信ボタンを押します。



⑤ 運用情報設定画面で、アドレスを選択したままリモコンをコントローラに向けながら 受信ボタンを押します。



⑥ 運用情報設定画面で、グループを選択したままリモコンをコントローラに向けながら 受信ボタンを押し、グループ番号を確認します。



おねがい 競合に注意！

無線アドレス 7

競合

有線アドレス 7

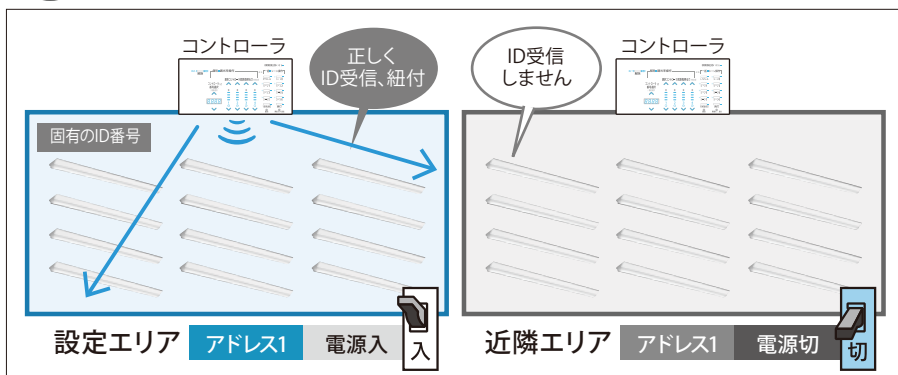
4 無線システムID設定を行います 無線

① ID設定時には、施設内にある
同一無線アドレス器具の電源を切る 無線

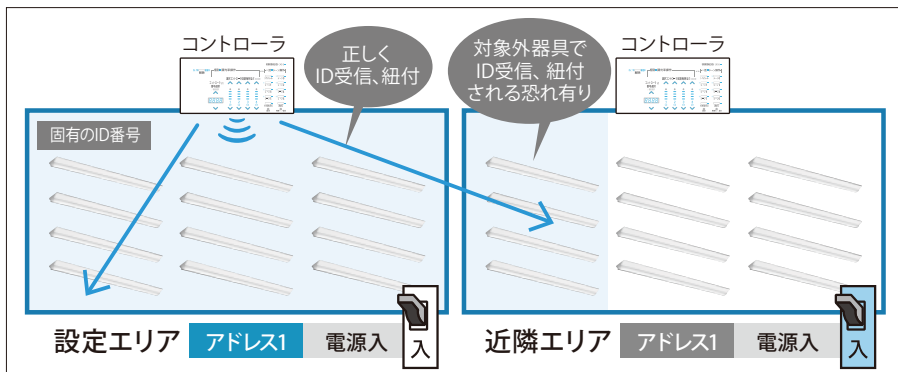
システムID設定の指令は、そのとき電源がONになっている、同一無線アドレスの全ての照明器具で受信されます。

指示を行う無線は広範囲に到達するので、他の部屋で作動している器具に無線指示が届き、間違って紐付けがされる恐れがあります。このため「システムID設定」を行う際は、同一アドレスで、まだシステムID設定がされていない（ID設定情報が空の）設定対象外となる、全ての照明器具の電源を必ず切ってください。

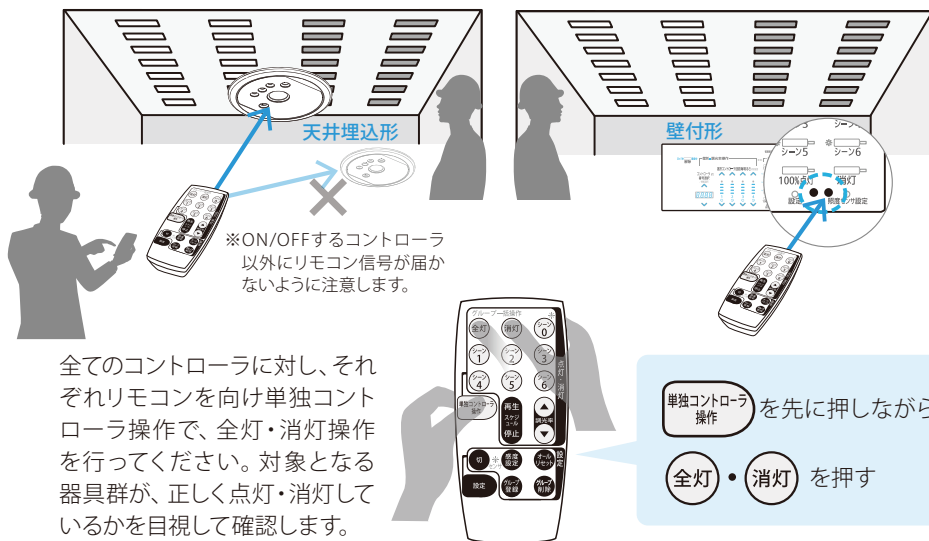
○ 対象外の器具がシステムID 設定の電波を受信してしまわないよう、同一アドレスの対象外器具の電源は切る。



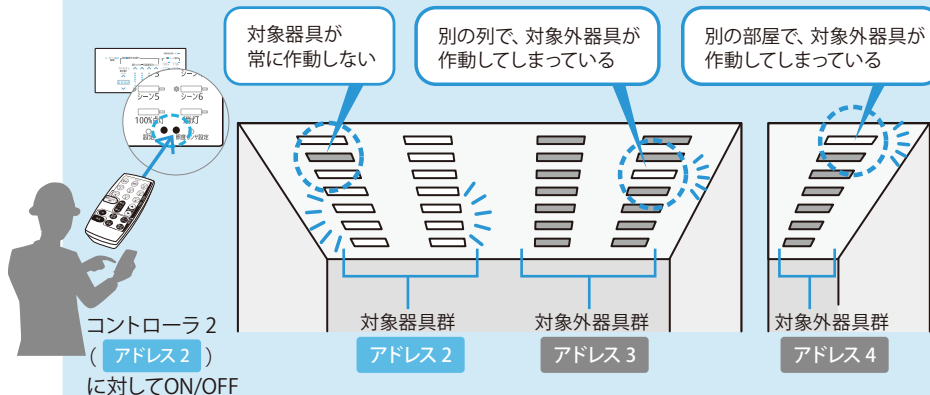
✕ 対象外のエリアで同一アドレスの器具の電源が入っていると、誤って紐付けがされる。



②すべてのコントローラ1台1台の、照明をON/OFFし対象器具を確認する 無線



誤ったアドレス設定がされている場合の点灯例



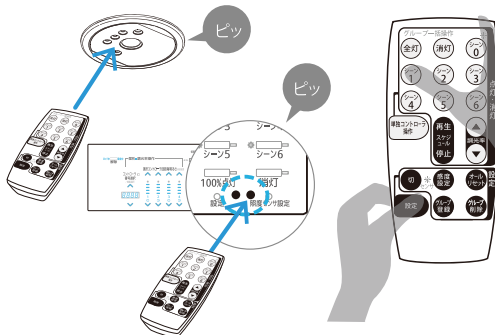
お知らせ

調光の不具合が確認された場合、「無線アドレス」が正しく設定されず施工されている可能性があります。該当するコントローラと照明器具の無線調光ユニットのディップスイッチが合っているかを確認し、都度修正作業を行ってください。(p.11)

③コントローラから照明器具へシステムIDを送信する 無線

(2)で確認した、コントローラと対象器具の紐付けを確定させる)

②で確認した、全てのコントローラ1台1台、それぞれ に対し行います。



設定を先に押しながら

① シーン 1 を押す

2つのボタンを3秒以上押し続けると送信され、受信コントローラから「ピッ」と音がします。



建物の電波・障害物の状況により、無線が一時的に器具に届きにくいことがあるため、本操作を5秒程度の間隔をおいて3回以上行ってください。

④ もう一度②と同じ手順で、無線 ID設定後のコントローラが正しく作動しているか確認する

全てのコントローラに対し、それぞれリモコンを向け単独コントローラ操作で、全灯・消灯操作を行ってください。対象となる器具群が正しく点灯・消灯しているかを、目視して確認します。



単独コントローラ操作を先に押しながら

④ (全灯)・(消灯) を押す

正しく点灯していない場合、システムIDが何らかの理由で設定されなかった可能性があります。再度③のID設定を行ってください。

お知らせ

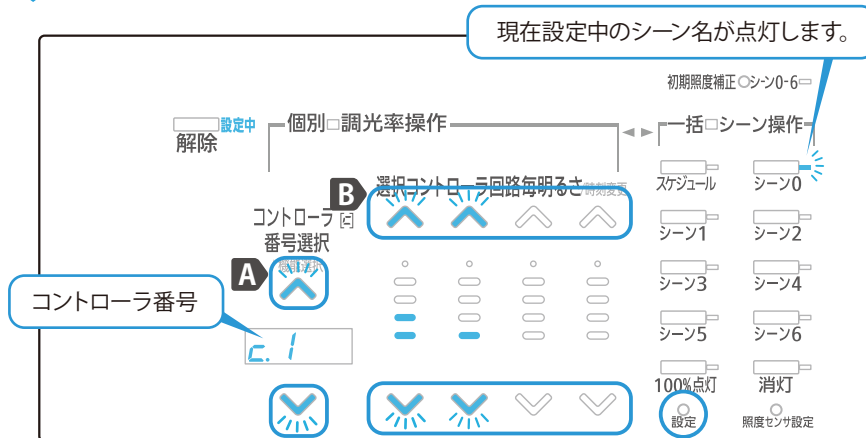
対象器具にシステムIDが振られると、同時にコントローラもIDとの関連付けがなされるので、IDを設定したコントローラはIDの振られていない器具を操作できなくなります。

こんなときは… 誤った器具にシステムIDを振った

p.41^

基本設定

2 7つのシーン調光率設定



- 1 設定を行う「シーン0」表示が点灯します。
- 2 **A** 点滅している、コントローラ番号選択「上」「下」ボタンをタッチして自器、もしくは接続されたコントローラを選択します。
B 選択したコントローラの回路毎明るさ「上」「下」ボタンをタッチしてシーンの照明をお好みの明るさに調整します。
- 3 シーン0における、接続された全てのコントローラの明るさを調整しシーンの明るさが決まったら「設定」ボタンを押すと、その明るさで「シーン0」調光率登録が完了し、自動的に次の「シーン1」調光率設定に進みますので、引き続き、登録を行ってください。
- 4 「シーン0」から「シーン6」までを順に行います。「シーン6」の明るさ調整を終え「設定」ボタンを押すと **3** 7つのシーン開始時刻設定に進みます。



「設定」ボタンを押すと次のシーンに進みますが、一度入力を終えたシーンに戻って修正を行うことはできません。最後まで設定を完了させ、再度基本設定を行い、設定を上書きをしてください。



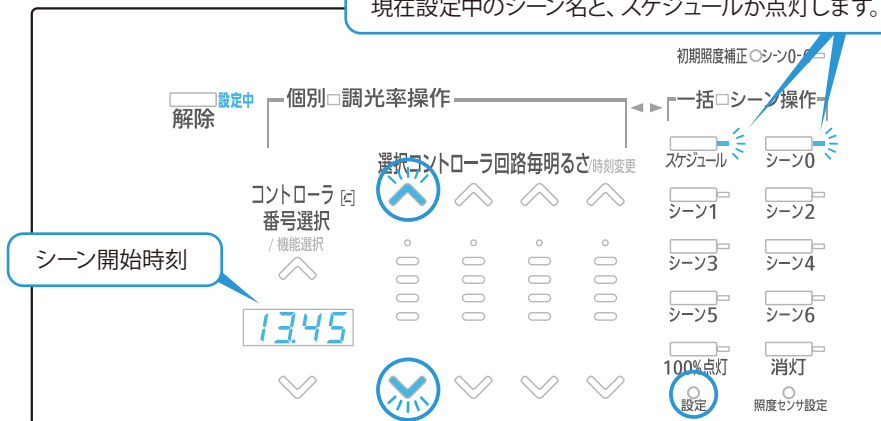
修正や入力を行いたいシーンが2つでも、7つのシーン設定プロセスを経る必要がありますが、変更が不要な場合はそのまま「設定」ボタンを押せば、すでに入力されたシーンを変更することなく、次のシーンに進めます。



「設定中」点灯LEDの左側「解除」ボタンを押すと設定を途中で破棄し取り止めます。また設定中、3分間無操作が続くと、同じく設定は破棄されます。

3 7つのシーン開始時刻設定

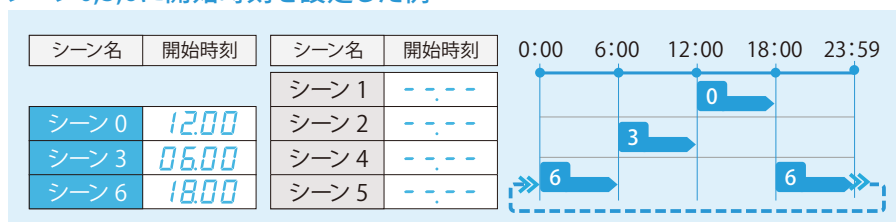
現在設定中のシーン名と、スケジュールが点灯します。



- 1 設定を行う「シーン0」「スケジュール」表示が点灯します。点滅している「上」「下」ボタンをタッチしてシーン開始時刻 **00:00**～**23:59** (LED表示画面) を入力します。シーンをスケジュール運用しないときは、**-:-:-** のままとします。すでに時刻が入力された状態では、時刻 **00:00** から、さらに「下」ボタンを押すと、**-:-:-** (設定なし) になります。

- 2 シーンの開始時刻が決まったら「設定」ボタンを押すと、その時刻で「シーン0」開始時刻が完了し、自動的に次の「シーン1」開始時刻設定に進みますので、引き続き、登録を行ってください。

シーン0,3,6に開始時刻を設定した例



- 3 「シーン0」から「シーン6」までを順に設定します。「シーン6」の開始時刻設定を終え「設定」ボタンを押すと、基本設定すべての作業が完了します。

拡張設定（必要時・任意）

さらに基本設定には含まれない拡張設定をご利用いただくことも可能です。



本ガイドでは一部の機能（青字）をご紹介します。
詳細は取扱説明書をご覧ください。

設定の流れ

1 拡張モードに入る

2 コントローラモードを選択する

3 フェード速度を変更する

4 いたずら防止設定をON/OFFする

5 スケジュール機能拡張設定をON/OFFする

6 シーン調光率のリアルタイム反映のON/OFFをする

単独使用のスタンドアロンモードまたは複数台接続使用の接続モードのどちらかを選択できます。

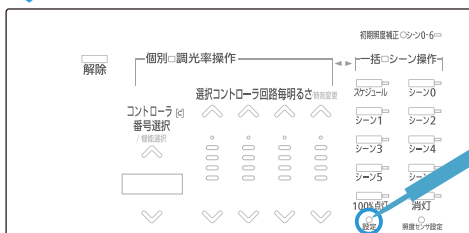
シーン移行時のフェード速度で、速いまたは遅いのどちらかを選択できます。

いたずら防止ロックのON または OFF どちらかを選択できます。

スケジュールに登録できるシーンの開始時刻を1つから4つに拡張することができます。

基本設定のシーン設定時、設定したいシーン調光率に、適合照明器具の調光率をリアルタイムに反映させるかまたは反映させないかのどちらかを選択できます。

1 拡張設定モードに入る



ロック中または個別・調光率操作中/一括シーン操作中に「設定」ボタンを1秒以上長押し、離します。



おねがい

「設定」ボタンは精密ドライバー等、先の細いもので押してください。

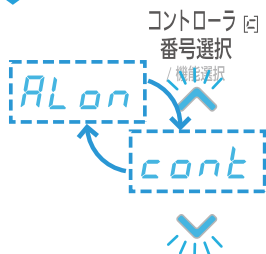


おねがい

各設定は、次の設定に移るため「設定」ボタンを押しながらひとつひとつ、入力を進めてください。

設定中は、次に押すべきボタンが点滅し、ガイドします。

2 コントローラモードを選択する



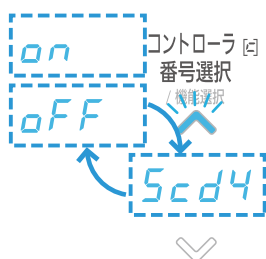
「コントローラ番号選択」ボタンをタッチして、コントローラモードを選択します。

- スタンドアロンモード** 自器以外のコントローラを本器の操作パネルに表示させない、選べない、探索しないモードです。
- コネクトモード** 他のコントローラと接続し、本器の操作パネルから制御を行うことのできるモードです。

「設定」ボタンを押すと次の設定に進みます。3 → 4 は本ガイドでは割愛します。



5 スケジュール機能拡張設定をON/OFFする



通常、スケジュールに登録できるシーンの開始時間は1つですが、スケジュール機能拡張をONにすると、スケジュールに登録できるシーンの開始時刻は最大4つまで割当てることができます。7つのシーンに対し合計10の開始時刻が最大割当てです。

- スケジュール機能拡張設定ON** スケジュールに各1シーン、最大4つの開始時刻を設定できます。
- スケジュール機能拡張設定OFF** スケジュールに1シーン1つの開始時刻を設定できます。

「設定」ボタンを押すと次の設定に進みます。6 は本ガイドでは割愛します。



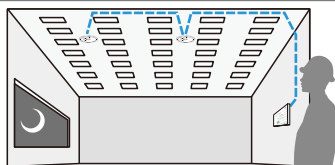
■照度センサ感度設定（必要時・任意）

照度センサを使い、「シーン0」を明るさ一定運転させることができます。運転の目標基準とする明るさの設定は、夜間などに行ってください。「シーン0」実行対象となるコントローラはグループ1となっている必要があります。

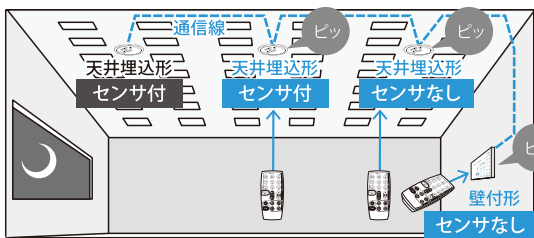
「有線コントローラのグループ番号設定」(p.19)

①部屋を「シーン0」の明るさで点灯させる

コンパクトリモコン(MS201)をコントローラに向け、**シーン0** を押します。部屋を「シーン0」の明るさで点灯させます。



②対象コントローラ(照度センサ付)以外を、一時的に「グループ0」に設定する



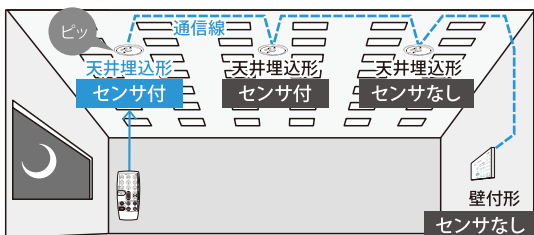
設定

を先に押しながら

グループ
削除 を押す

2つのボタンを3秒以上押し続けると送信され、受信コントローラから「ピッ」と音がします。

③対象コントローラ(照度センサ付)に、感度設定を行う



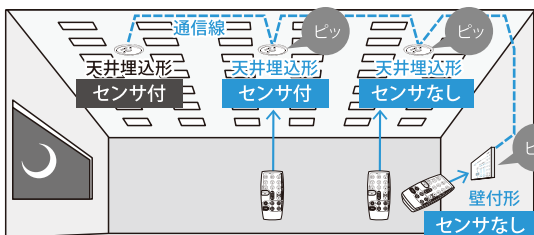
設定

を先に押しながら

感度
設定 を押す

2つのボタンを3秒以上押し続けると送信され、受信コントローラから「ピッ」と音がします。

④対象コントローラ(照度センサ付)以外を、「グループ1」に戻す再設定を行う



設定

を先に押しながら

グループ
登録 を押す

2つのボタンを3秒以上押し続けると送信され、受信コントローラから「ピッ」と音がします。



①～④の手順に沿ってシーン0での照度センサ感度設定を行ったあと、シーン0を実行すると、コントローラは照度センサを使い部屋を設定した明るさに近づけるよう調光制御をはじめます。



照度センサ有効表示が点灯しますが、設定後すぐに反映されません。3分間無操作後にロック中となりますので、解除すると反映されます。

週間スケジュール設定

ワイヤレスリモコン (MS213) を使い、週間スケジュールを設定できます。最初に、1日を通じたシーン切替パターンである「スケジュールパターン」の設定、次に月～日各曜日にパターンの割り当てを行います。

1 スケジュールパターン設定

① メニューボタンを押してメニュー画面を呼び出し、 下ボタンを押して、スケジュール設定を選択して 決定ボタンを押します。

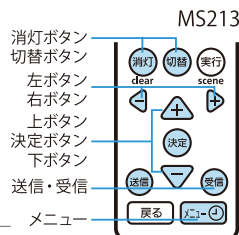
メニュー
マニュアル操作
簡単設定
通常設定
シーン設定
日時設定
▶スケジュール設定
運用情報設定
特殊操作
通信設定

②スケジュール設定画面で、 下ボタンを押して、スケジュールパターンを選択して 決定ボタンを押して、スケジュールパターン画面を表示させます。

スケジュール設定
スケジュールモード
▶スケジュールパターン
週間スケジュール
年間スケジュール
スケジュール確認
スケジュール実行
スケジュール削除

③スケジュールパターン画面で、 切替ボタンを押して、パターン番号(1～4)を選択します。 を押した後、画面が切り替わるのに数秒間かかります。

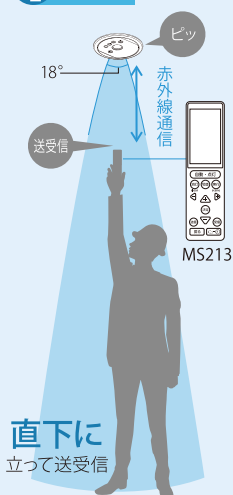
スケジュールパターン
スケジュールパターン 1 時刻
1: --時--分 --
2: --時--分 --
3: --時--分 --
4: --時--分 --
5: --時--分 --
6: --時--分 --
7: --時--分 --
8: --時--分 --
9: --時--分 --
10: --時--分 --



④各スケジュールパターン画面で、 受信ボタンを押します。コントローラに既に入力された内容がある場合リモコンに読み込まれます。

スケジュールパターン
スケジュールパターン 1 時刻
▶1: 9時0分 通常
2: 12時0分 シーン1
3: 13時0分 通常
4: 18時0分 シーン2
5: MEMO
6: 基本設定(p.24)で1日のスケジュールを設定した場合は、「スケジュールパターン1」が既に入力されています。
7:
8:
9:
10:

おねがい



リモコンとコントローラ間の通信には10秒程度かかりますので、その間リモコンをコントローラに向けたままにしてください。画面右上に、通信中 が表示されたあと、受信失敗を示す が表示された場合、受信を再度行います。

スケジュールパターン
スケジュールパターン 1 時刻
1: --時--分 --
2: --時--分 --
3: --時--分 --
4: --時--分 --
5: --時--分 --
6: --時--分 --
7: --時--分 --
8: --時--分 --
9: --時--分 --
10: --時--分 --

①スケジュールパターンの設定(つづき)

⑤スケジュールパターンは、1日のシーンスケジュールです。最大10の時刻に、シーンの開始時刻を設定できます。
▽ボタンで番号を選び、決定を押します。

スケジュールパターン	
スケジュールパターン 1	時刻
1: --時--分 --	
2: --時--分 --	
3: --時--分 --	
4: --時--分 --	
5: --時--分 --	
6: --時--分 --	
7: --時--分 --	
8: --時--分 --	
9: --時--分 --	
10: --時--分 --	

⑥◀▶左右ボタンで、時・分・シーンを選択し、
▲▼上下ボタンで時刻と、開始するシーン名を変更したら決定ボタンを押し、ポップアップ画面を閉じます。

スケジュールパターン	
スケジュールパターン 1	時刻
データ: 1	
▲	
9 時 00分 シーン1	
▼	
7	
8	
9	
10	

「通常」
「シーン1」
}
「シーン6」
が選択可能です
「通常」は「シーン0」
のことを指しています。

⑦一度入力したデータを取り消したいときは
▲▼上下ボタンで番号が選ばれた状態で(消灯)を押すとデータが削除され、その後の時刻が繰り上って表示されます。

スケジュールパターン	
スケジュールパターン 1	時刻
▶ 1: 9 時 0分 通常	
2: 12 時 0分 シーン1	
3: 13 時 0分 通常	
4: 18 時 0分 シーン2	
5: --時--分 --	
6: --時--分 --	
7: --時--分 --	
8: --時--分 --	
9: --時--分 --	
10: --時--分 --	

スケジュールパターン	
スケジュールパターン 1	時刻
▶ 1: 12 時 0分 シーン1	
2: 13 時 0分 通常	
3: 18 時 0分 シーン2	
4: --時--分 --	
5: --時--分 --	
6: --時--分 --	
7: --時--分 --	
8: --時--分 --	
9: --時--分 --	
10: --時--分 --	

⑧⑤～⑦を繰り返し入力を進めます。必要なデータの設定が終わったらリモコンをコントローラに向け(送信)送信ボタンを押して、コントローラに設定した情報を送信します。

スケジュールパターン	
スケジュールパターン 1	時刻
▶ 1: 12 時 0分 シーン1	
2: 13 時 0分 通常	
3: 18 時 0分 シーン2	
4: 21 時 0分 シーン3	
5: --時--分 --	
6: --時--分 --	
7: --時--分 --	
8: --時--分 --	
9: --時--分 --	
10: --時--分 --	

送信は入力したすべてのスケジュールパターン画面ごとに都度行います。

スケジュールパターン	
スケジュールパターン 2	時刻
1: --時--分 --	
2: --時--分 --	
3: --時--分 --	
4: --時--分 --	

切替 切替ボタンでパターン2を選択し、(送信)送信ボタンを押します。

スケジュールパターン	
スケジュールパターン 3	時刻
1: --時--分 --	
2: --時--分 --	
3: --時--分 --	
4: --時--分 --	

切替 切替ボタンでパターン3を選択し、(送信)送信ボタンを押します。

スケジュールパターン	
スケジュールパターン 4	時刻
1: --時--分 --	
2: --時--分 --	
3: --時--分 --	
4: --時--分 --	

切替 切替ボタンでパターン4を選択し、(送信)送信ボタンを押します。



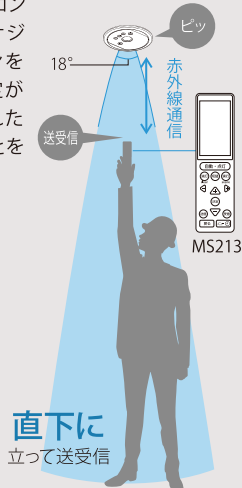
おねがい

接続されたコントローラ全てに対し、⑧の送信作業を行ってください。

MEMO

送信の完了後、再度④の手順で

(受信)受信ボタンを押し、リモコンにコントローラのスケジュールパターンを読み込み、設定が正しく送信されたことを確認することをおすすめします。



MS213

②週間スケジュールの設定

月曜日から日曜日に、①で設定したスケジュールパターンの割り付けを行います。

① **メニュー** ボタンを押してメニュー画面を呼び出し、**▽** 下ボタンを押して、スケジュール設定を選択して **決定** 決定ボタンを押します。

メニュー
マニュアル操作
簡単設定
通常設定
シーン設定
日時設定
▶ スケジュール設定
運用情報設定
特殊操作
通信設定

② スケジュール設定画面で、**▽** 下ボタンを押して、週間スケジュールを選択して **決定** 決定ボタンを押して、週間スケジュール画面を表示させます。

スケジュール設定
スケジュールモード
スケジュールパターン
▶ 週間スケジュール
年間スケジュール
スケジュール確認
スケジュール実行
スケジュール削除

③ 週間スケジュール画面で、**▽** 下ボタンを押して、変更したい曜日を選択して **決定** 決定ボタンを押して、ポップアップ画面を表示させます。

週間スケジュール
▶ 月 スケジュールパターン --
火 スケジュールパターン --
水 スケジュールパターン --
木 スケジュールパターン --
金 スケジュールパターン --
土 スケジュールパターン --
日 スケジュールパターン --

④ **+** **▽** 上下ボタンで、スケジュールパターンを選択したら、**決定** 決定ボタンを押して、ポップアップ画面を閉じます。

週間スケジュール
スケジュールパターン
▲
1
▼
日 スケジュールパターン --

⑤ ③と④を繰り返し、必要な曜日の設定が終わったらリモコンをコントローラに向け **送信** 送信ボタンを押してください。

週間スケジュール
▶ 月 スケジュールパターン 1
火 スケジュールパターン 1
水 スケジュールパターン 1
木 スケジュールパターン 1
金 スケジュールパターン 1
土 スケジュールパターン 2
日 スケジュールパターン 2

おねがい

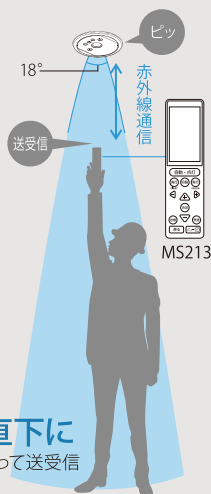
接続されたコントローラ全てに対し、⑤の送信作業を行ってください。



送信の完了後、再度リモコンをコントローラに向け **受信** 受信ボタンを押して、コントローラの週間スケジュールをリモコンに読み込み、⑤で正しく送信されたか確認する事をおすすめします。

週間スケジュール
▶ 月 スケジュールパターン 1
火 スケジュールパターン 1
水 スケジュールパターン 1
木 スケジュールパターン 1
金 スケジュールパターン 1
土 スケジュールパターン 2
日 スケジュールパターン 2

画面右上に通信中 **Wi-Fi** が表示されたあと、受信失敗を示す **!** が表示された場合、受信を再度行います。



照明器具の操作

呼び出し・調光操作のあらまし

左側のボタンでは個別にコントローラや回路を選んでの明るさ調節、
右側のボタンでは接続された全コントローラでのシーン呼出を行います。



個別・調光率操作

コントローラ選択調光率操作

個別の回路や、特定のコントローラを選んで調光します。

明るさ調節

明るさのめやす

100 %	
76-99 %	
51-75 %	
26-50 %	
1-25 %	

(個別調光率操作) 左側

一括・シーン操作

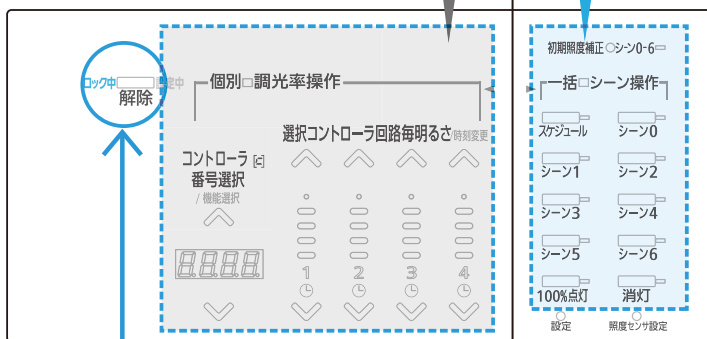
シーン呼出し

設定で登録したシーンをシーンボタンで再現します。

スケジュール運転

設定で登録したシーンに、開始時刻を割り当て、スケジュール運転させることができます。

右側 (一括シーン操作)



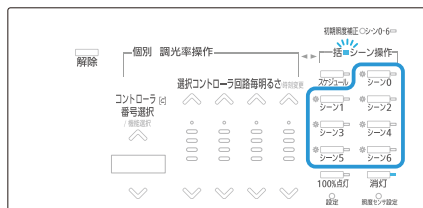
左右の
ブロックで
操作が分かれて
います。

●最初にロック解除が必要

最初に「解除」ボタンを押して、ロック中を解除します。

● 設定したシーンを呼び出す (右側・一括シーン操作)

実行したいシーンの「シーン」ボタンをタッチする。



(例)

シーン4

選択したシーンが実行され、「シーン表示」が点灯します。

お知らせ

特定のコントローラを個別に指定し、右側ボタン群「シーン操作」を行ったり、全コントローラを一括して、左側ボタン群「調光率操作」を行うことはできません。

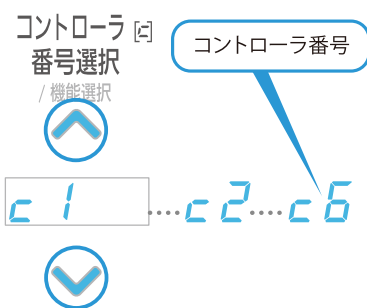
● 特定のコントローラを選び回路毎に明るさを手動で変える (左側・個別調光率操作)

明るさを変えたい回路番号の「上下」ボタンをタッチする。



コントローラ6、回路4器具群 明るさ調節の例

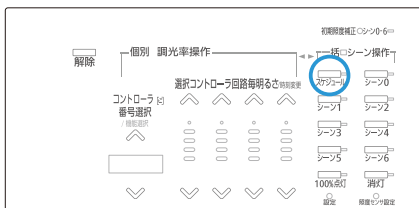
①コントローラ6を選択する➡ ②回路4の明るさを調節する



● スケジュール運転を行う

全てのコントローラに対して、一括で命令を行います。

「スケジュール」ボタンをタッチする。



→ **スケジュール**

スケジュール運転状態となり、現在時刻に該当するシーンが自動で実行され、「スケジュール表示」が点灯します。

シーン4

スケジュール運転により、「シーン4」実行中の場合

スケジュールが登録されていない場合は「スケジュール表示」が点滅し、エラーとなります。

お知らせ

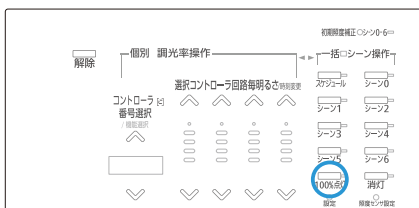
スケジュール通りに動かない

→「基本設定」(p.24)を再度行い、現在の時刻とシーン開始時刻の確認・設定を行ってください。

● 全ての照明を最大の明るさで点灯させたいとき

全てのコントローラに対して、一括で命令を行います。

「100%点灯」ボタンをタッチする。



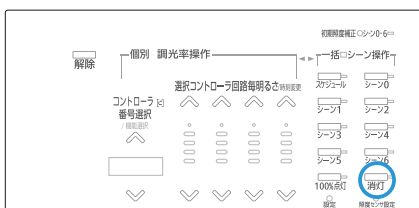
→ **100%点灯**

全ての照明が最大の明るさで点灯し、「100%点灯表示」が点灯します。

● 全ての照明を消灯させたいとき

全てのコントローラに対して、一括で命令を行います。

「消灯」ボタンをタッチする。

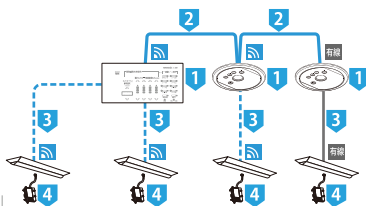


→ **消灯**

全ての照明が消灯し、「消灯表示」が点灯します。

故障かな? と思ったら

p.9～p.23の設定を終えても点灯しない器具があるときは、
下記の手順で確認処置を進めてください。



確認内容

1 コントローラの通電を確認します (p.37)



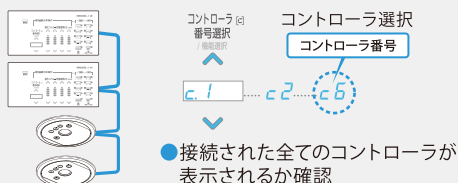
問題無し

処

チェック・処置内容

コントローラへの給電

2 コントローラ間の接続を確認します (p.37)



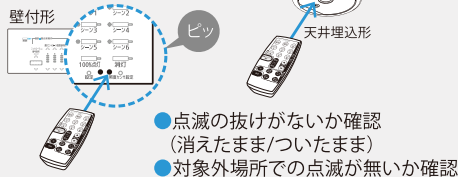
問題無し。

処

- ・アドレス番号、グループ番号
- ・コントローラ間の通信線接続

3 コントローラと器具間の接続を確認します (p.39)

- MS201 (コントローラ単独操作)を使用
- すべてのコントローラで行う



問題無し。

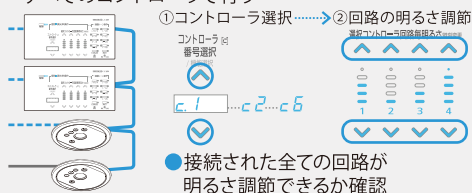
処

無線コントローラ+無線器具

- 1 照明器具への給電
- 2 無線調光ユニットへの給電
- 3 器具のアドレスと、無線調光ユニットのアドレス
- 4 無線システムIDの設定
- 5 コントローラ無線到達範囲

4 コントローラの回路設定を確認します (p.46)

- すべてのコントローラで行う



問題無し

処

無線コントローラ+無線器具

無線調光ユニットの回路番号

有線コントローラ+有線器具

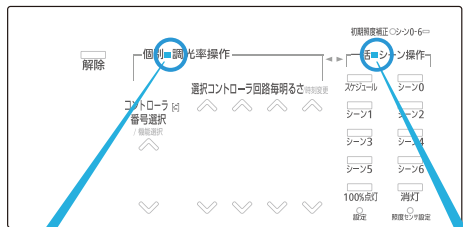
コントローラと器具の PWM信号線接続

完了

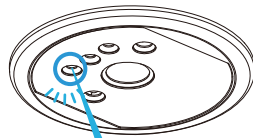
1 コントローラの通電を確認します 無線 有線

コントローラの通電を示すLEDが点灯しているかを目視確認してください。
点灯が確認できないときは、コントローラへ正しく給電するよう施工を行ってください。

壁付形



天井埋込形 (例)

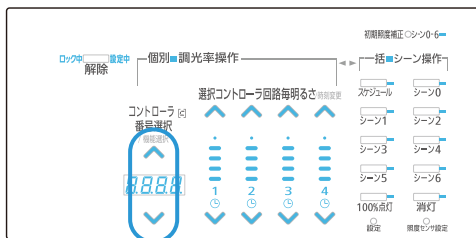


赤色LED
点灯または点滅

「個別調光率操作」 または 「一括シーン操作」

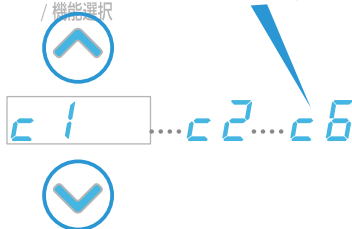
2 コントローラ間の接続を確認します 無線 有線

本器に接続された各コントローラ番号 (=有線・無線アドレス番号) が正しく表示されているか確認します。



コントローラ
番号選択
機能選択

コントローラ番号
(設定された無線・有線
アドレス番号)



アドレス番号1,2,4,5のコントローラが同じグループとして接続されながら、
コントローラ1,2しか表示されない等の現象が起きていないか？

正しく表示されない場合、次のチェックと処置を行います。

- ① アドレス番号の設定をチェックする (p.38)
- ② コントローラ間の通信線接続をチェックする (p.38)

① アドレス番号、グループ番号の設定をチェックする 無線 有線

「『アドレス』とは何ですか?」

p.5へ

無線・有線コントローラのアドレス番号、グループ番号設定

p.11,p.19へ

アドレス番号の確認を行います。接続されたコントローラ同士の番号競合などがあれば重複のないよう設定してください。



おねがい

競合に注意!

無線アドレス 7

競合

有線アドレス 7

② コントローラ間の通信線接続をチェックする 無線 有線

「コントローラ間を通信線で接続します」

p.17へ

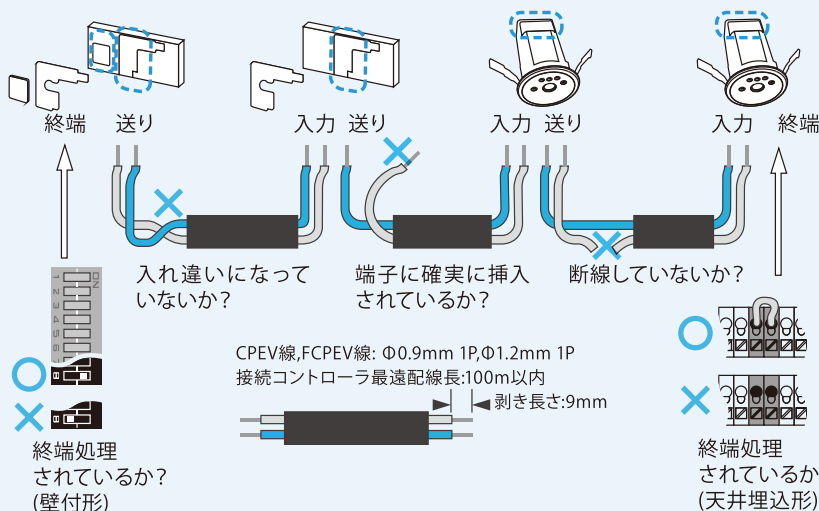
通信線の接続を確認します。取扱説明書をご覧の上、接続不良の箇所があれば正しく接続してください。



おねがい

上の処理作業にあたっては以下を特に注意してください。

- ・通信線が正しく「入力」「送り」端子に挿入されているか
- ・通信線が入れ違いになったり断線していないか
- ・通信線が分岐配線されていないか
- ・終端 (2台) のコントローラに、通信線短絡またはディップスイッチによる終端処理がなされているか



3 コントローラと器具間の接続を確認します 無線 有線

最初に、接続されたコントローラ1台1台毎に対象器具の点灯・消灯確認を行います。正しく点滅しないときは、チェックと処置を行うため

無線

1

2

3

4

5

(p.39 - p.44)

有線

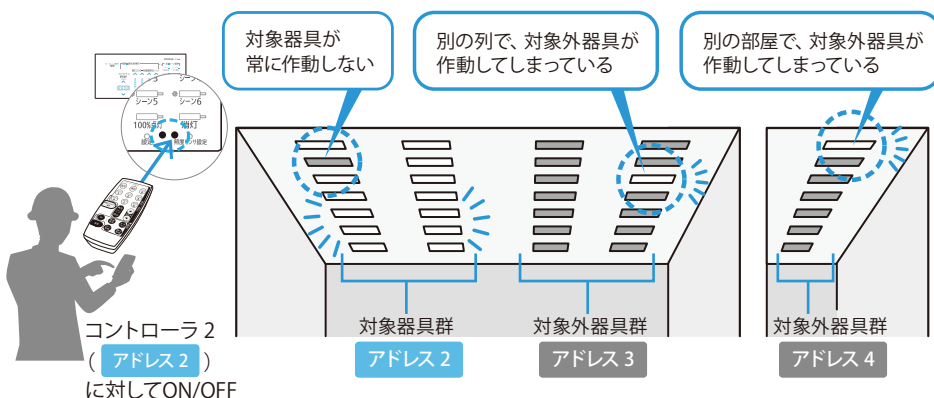
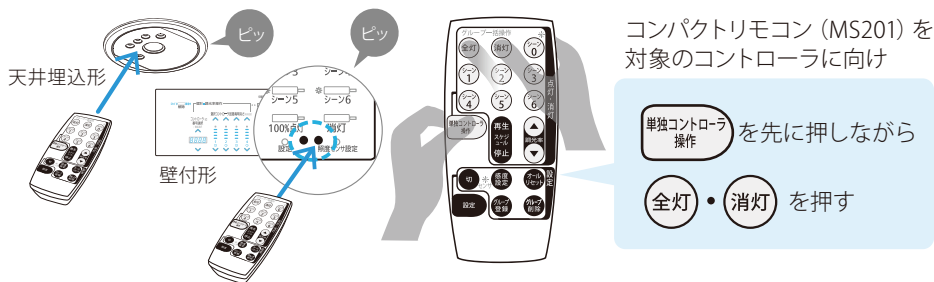
6

7

(p.45)

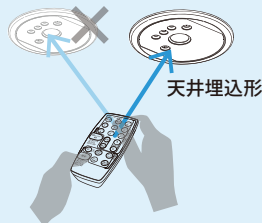
に進んでください。

コンパクトリモコン (MS201) を、壁付形、天井埋込形コントローラ1台1台毎に向け、コントローラ単独で点灯・消灯させます。それぞれのコントローラの対象となる照明器具群が正しく点滅するか目視で確かめます。

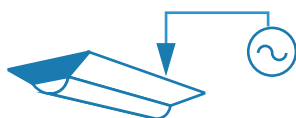


おねがい

室内のコントローラに赤外線信号が届き、対象とするコントローラと同時に点滅する事があります。その場合、対象となるコントローラのみが作動するように遮光などを行って下さい。



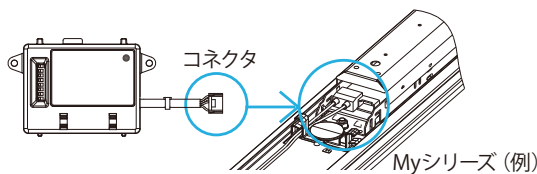
① 照明器具への給電をチェックする 無線



照明器具への電源を確認し、接続不良の箇所があれば正しく給電してください。

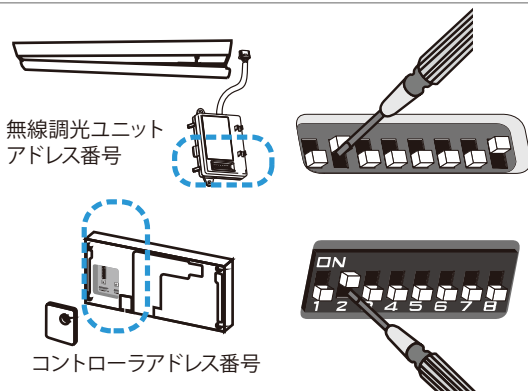
なお照明器具に正しく給電された状態であれば、調光信号を送出する壁付形・天井埋込形コントローラの電源のみを落としたとき、照明器具は調光されず100%で点灯します。

② 無線調光ユニットへの給電をチェックする 無線



無線調光ユニットの取り付けを確認し、コネクタ等接続不良の箇所があれば正しく給電してください。

③ 器具のアドレスと、無線調光ユニットのアドレスをチェックする 無線



コントローラのアドレス番号と、対象器具に搭載された無線調光ユニットのアドレス番号が同一になっているか、デップスイッチを目視確認し、異なっている場合は合致させてください。

「『アドレス』とは何ですか?」

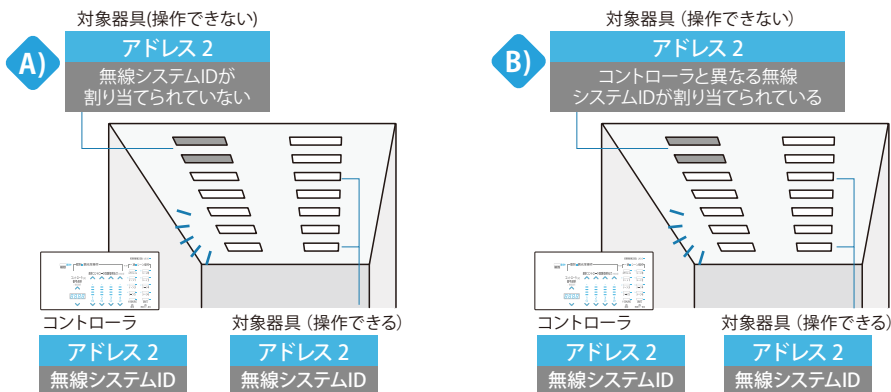
p.5へ

「無線コントローラのアドレス番号設定」

p.11へ

4 無線システムIDの設定 無線

コントローラと器具のアドレスが合致していても特定の器具が操作できない場合、コントローラと器具の「無線システムID」が合致していない可能性があります。

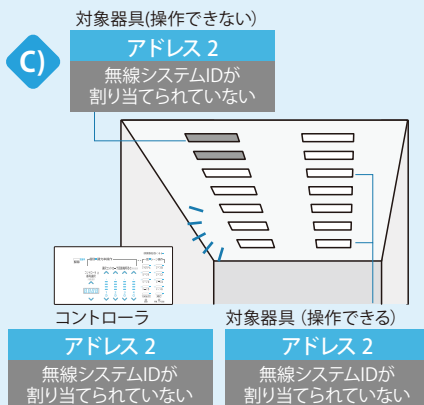


「無線システムID」の不一致には、A)B)2つのケースが考えられますが、動作不良の場合A)B)どちらの可能性もあるため、次の処置を行います。

- ①操作できない無線調光ユニットの「無線システムID」をリセットする (p.42)
- ②操作できない無線調光ユニットへ「無線システムID」を再度割り当てる (p.44)
- ③操作できるか点灯・消灯を確認する (p.44)

おねがい

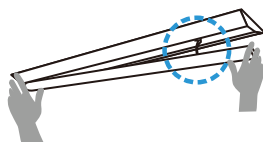
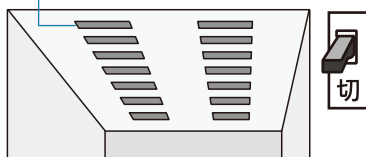
右図C)のようにコントローラ・すべての無線調光ユニットに、無線システムIDが未割当のとき、ケースA)B)に示すID不一致による操作障害は起きません。無線範囲が原因である可能性がありますので、先に⑤ (p.44) をチェックしてください。但し、⑤ 項の処置で問題が解消された場合でも、そのまま無線システムIDを割り当てないまま使うことはせず、正常動作確認の後、無線システムIDの設定は必ず行ってください。



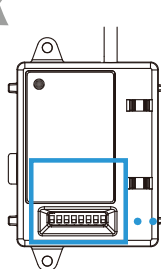
①操作できない無線調光ユニットの「無線システムID」をリセットする

リセット対象となる照明器具の電源を切ります。この際はコントローラによる0%調光制御（消灯）ではなく、電灯電源自体を落としてください。

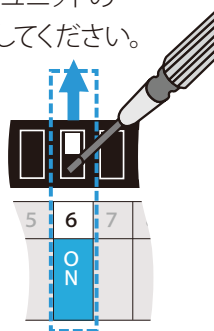
対象器具(操作できない)



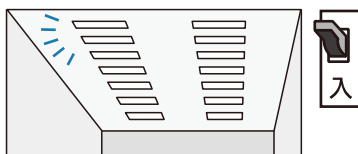
リセット対象となる器具の無線調光ユニットの「リセット」ディップスイッチをONにしてください。



1	2	3	4	5	6	7	8
無線アドレス				未使用	リセット	回路番号	
1	2	3	4				
ON							
OFF							



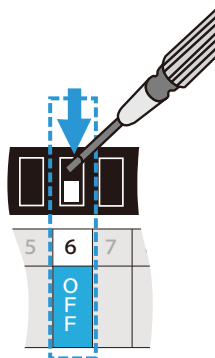
リセット対象となる照明器具の電源を入れ、3秒以上待ちます。この時点で無線調光ユニットの「無線ID」がリセットされます（既にあるIDが消去されて、空になります）。



リセット対象となる照明器具の電源を切ります。



無線調光ユニットの「リセット」ディップスイッチを通常通りOFFに戻します。これで本操作は完了し、次の手順で無線システムIDを再び割り当てます。





おねがい

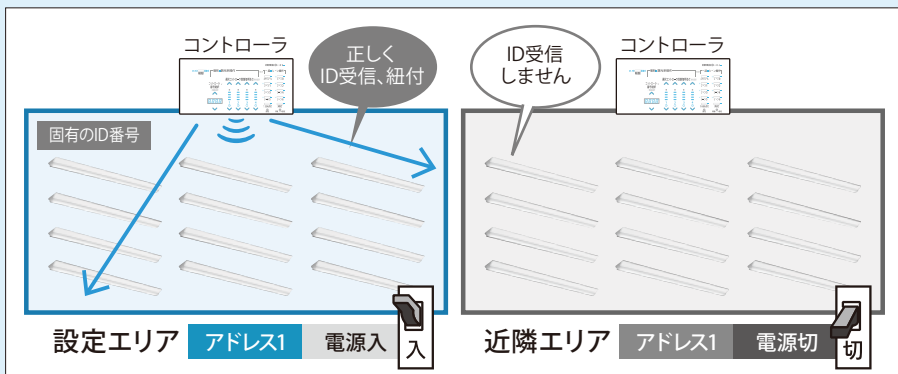
ID設定時、施設内に同一無線アドレスの器具がある場合は電源を切る

システムID設定の指令は、そのとき電源がONになっている、同一無線アドレスの全ての照明器具で受信されます。

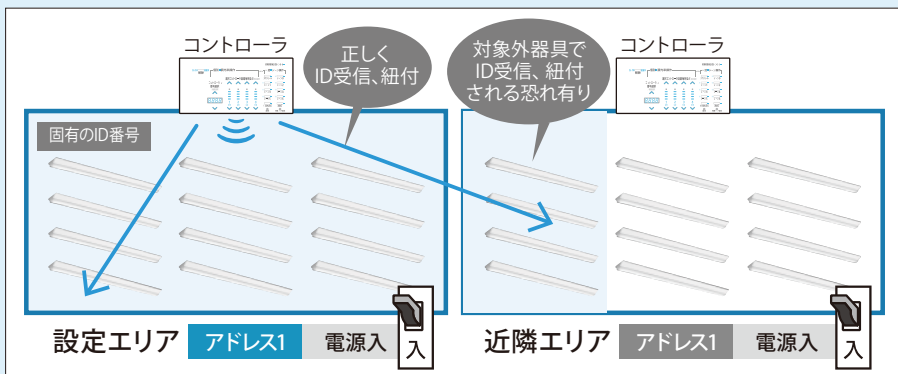
指示を行う無線は広範囲に到達するので、他の部屋で作動している器具に無線指示が届き、間違って紐付けがされる恐れがあります。このため「システムID設定」を行う際は、設定対象となる器具以外の、同一アドレスで、まだID設定のされていない (ID設定情報が空の) 全ての照明器具電源を必ず切ってください。



対象外の器具がシステムID設定の電波を受信してしまわないよう、同一アドレスの対象外器具の電源は切る。

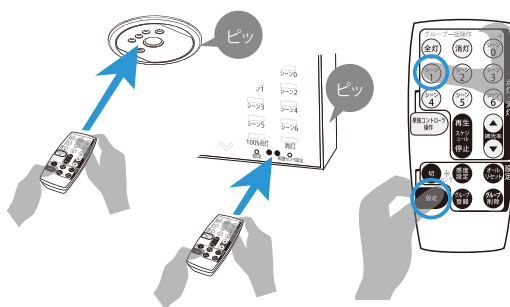


対象外のエリアで同一アドレスの器具の電源が入っていると、誤って紐付けがされる。



②操作できない無線調光ユニットへ「無線システムID」を再度割り当てる

対象外同一アドレス器具の電源を切ったことを確認 (p.43) したら
コントローラから無線調光ユニットへ、システムIDを送信させます。



コンパクトリモコン (MS201) を
対象のコントローラに向け

設定 を先に押しながら

シーン1 を押す

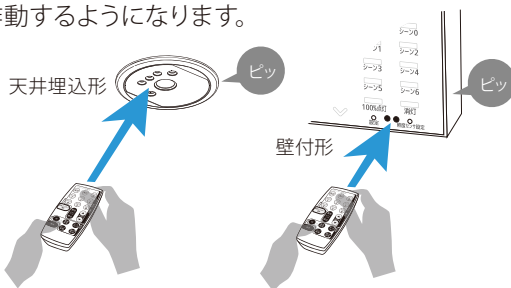
2つのボタンを3秒以上押し続
けると送信され、受信コントロ
ーラから「ピッ」と音がします。



建物の電波・障害物の状況により、無線が一時的に器具に届きにくいこと
があるため、本操作を5秒程度の間隔をおいて3回以上行ってください。

③操作できるか点灯・消灯を確認する

正常な操作ができなかった無線調光ユニットに無線システムIDが再設定されれば、
既に対象コントローラの無線システムIDが割り当てられた、他の器具と一体となって
作動するようになります。



コンパクトリモコン (MS201) を
対象のコントローラに向け

**単独コントローラ
操作** を先に押しながら

全灯・消灯 を押す

最初の手順 (p.39) で行ったように対象となる器具群の点灯・消灯をチェックしま
す。正しく点滅しないときは、次項 ⑤ 無線到達範囲を確認します。

⑤コントローラ無線到達範囲を確認する 無線

「コントローラの取付場所について」

p.4へ

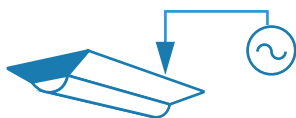
取扱説明書に記載されている無線範囲を確認し、無線範囲に器具を設置してください。

「無線中継器兼PWM変換器 (MS406) の活用例」

p.47へ

無線範囲の中で電波が届きにくい箇所には、無線中継器兼PWM変換器 (MS406) を使用
することができます。

⑥照明器具への給電をチェックする 有線



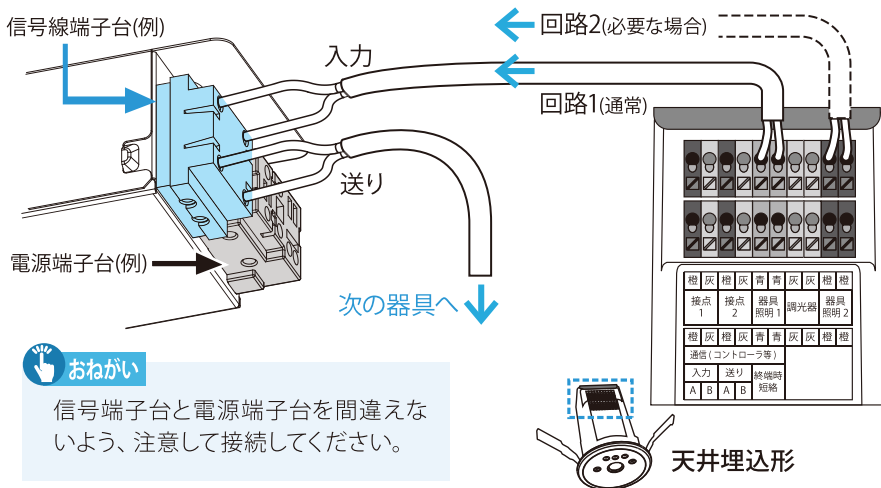
照明器具への電源を確認し、接続不良の箇所があれば正しく給電してください。

なお照明器具に正しく給電された状態であれば、調光信号を送出する壁付形・天井埋込形コントローラの電源のみを落としたとき、照明器具は調光されず100%で点灯します。

⑦PWM調光信号線の接続をチェックする 有線

コントローラと器具間をPWM調光信号線にて接続します。

器具ごとに端子台の形や取付方法が異なりますので、各製品取扱説明書に記載された方法に従ってください。



4 コントローラの回路設定を確認します 無線 有線

全てのコントローラの回路毎に明るさを変化させ、操作できるか確認してください。特定の回路が操作出来ない場合は次のチェックと処置を行います。

①無線調光ユニットの回路番号をチェックする(本ページ)

②コントローラと器具のPWM信号線接続をチェックする(本ページ)

コントローラ6、回路4器具群 明るさ調整の例

①コントローラ6を選択する➡②回路4の明るさを調節する

コントローラ
番号選択
機能選択

c 1 ... c 2 ... c 6

コントローラ番号

選択コントローラ回路毎明るさ^{時刻変更}



回路番号

①無線調光ユニットの回路番号をチェックする 無線

「回路の設定方法」

p.13へ

無線調光ユニットのディップスイッチを目視で確認し、正しい回路番号となっていないときは、再設定してください。

②コントローラと器具のPWM信号線接続をチェックする 有線

「コントローラ間を通信線で接続します」

p.17へ

「PWM調光信号線の接続」

p.18へ

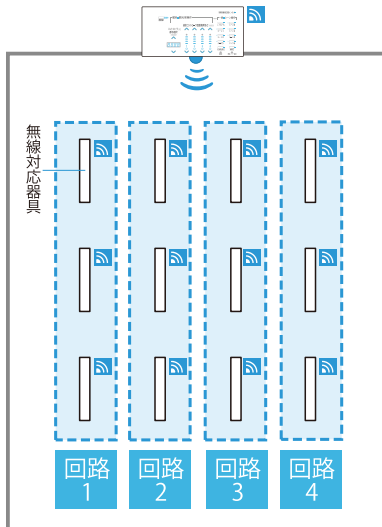
PWM調光信号線のコントローラ各回路端子への挿入、器具間渡りなどを確認し、接続不良の箇所があれば正しく接続してください。

■無線中継器兼PWM変換器 (MS406) の活用例

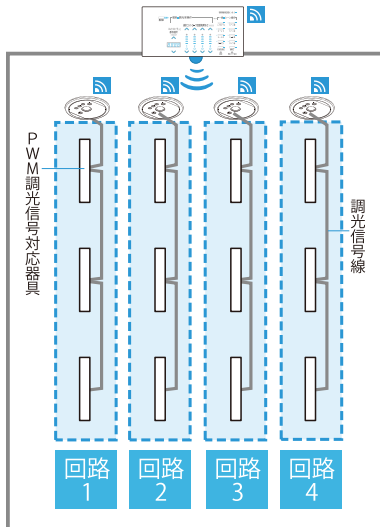
PWM変換器としての使用

無線コントローラからPWM調光信号対応器具を調光します。

無線調光機能対応器具を使用する場合



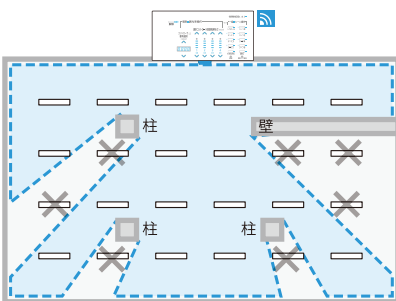
PWM 調光信号対応器具を使用する場合



無線中継器としての使用

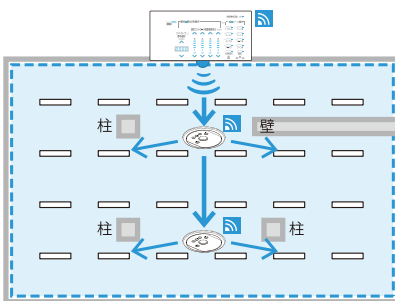
無線通信範囲内に障害物などがある場合、無線範囲を補完します。

※コントローラ本来の無線通信範囲を広げる目的ではご使用できません。



器具見通しでの無線通信範囲

無線通信範囲の中で、障害物などがある場合器具に無線信号が届かないことがあります。



器具見通しでの無線通信範囲

無線通信範囲の中で、2台まで無線中継器を設置することで器具に無線信号を届けます。



無線通信範囲については各製品の取扱説明書をご覧ください。

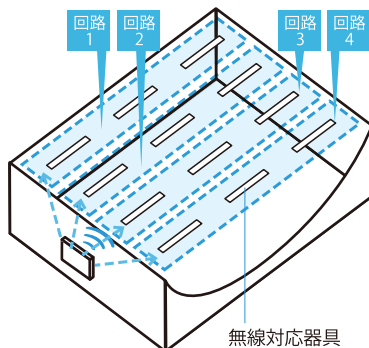
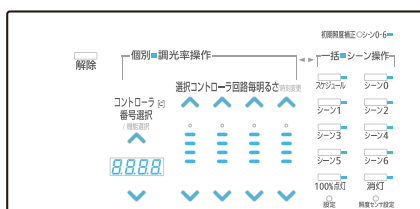
■単独コントローラ (MS711S) の操作例

コントローラの工場出荷時の設定は、「アドレス1」「グループ1」「コネクトモード」に設定されています。

単独の壁付コントローラ

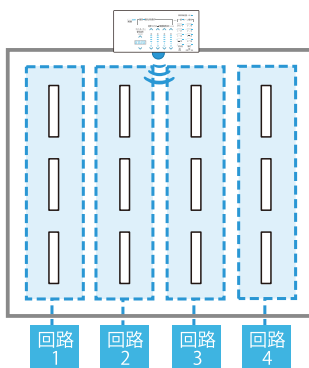
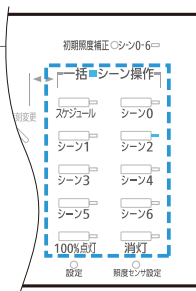
一つのコントローラで4回路を操作できます。

基本的な使用方法



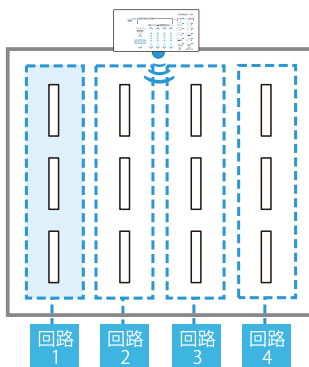
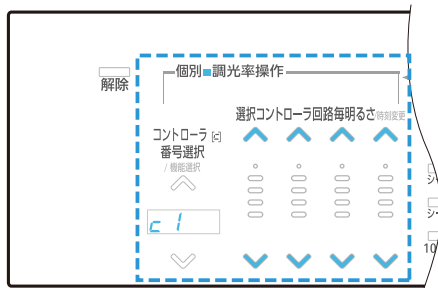
操作パネル右側 一括シーン操作

呼び出し命令は部屋全体に行われます。



操作パネル左側 個別調光率操作

特定の回路を選定して、個別に調節できます。



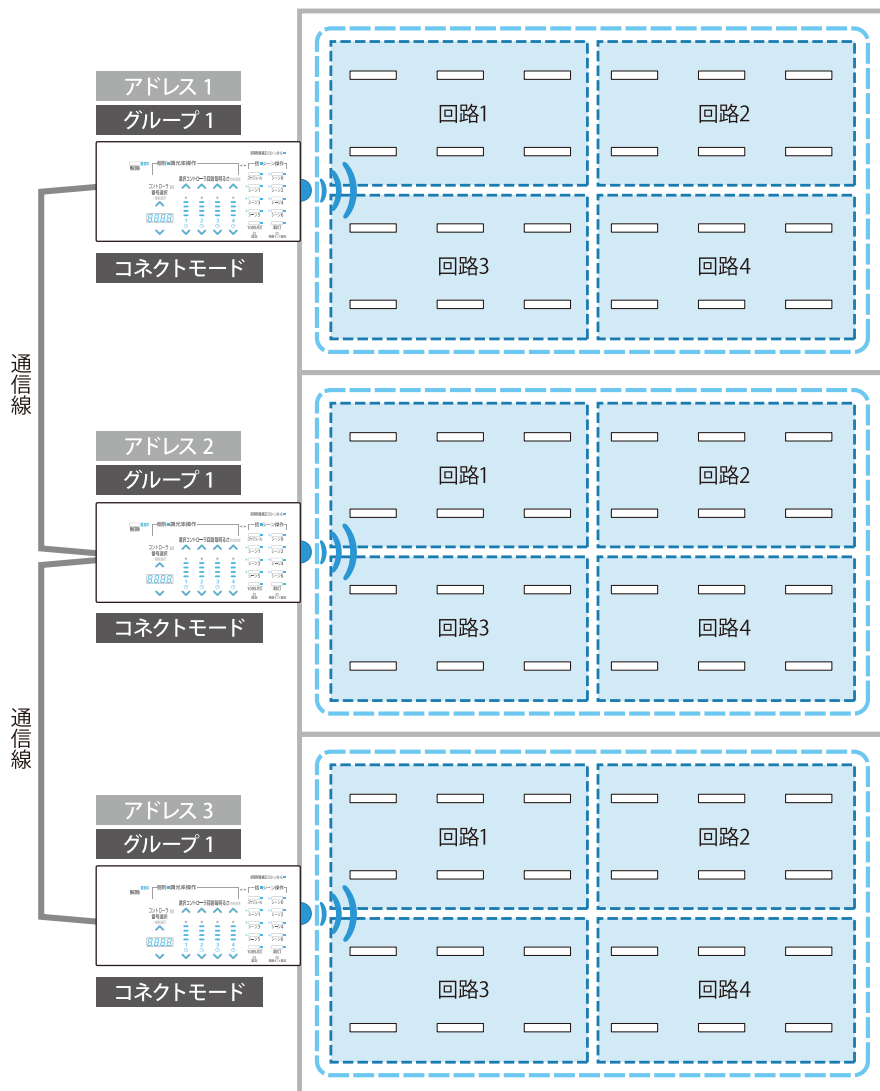
■ 複数コントローラ (MS711S) 接続の操作例

工場出荷時の設定は、コントローラが「グループ1」に設定されています。コントローラ間を通信線で接続すれば、全てのコントローラを一括で操作できます。

複数の壁付コントローラ

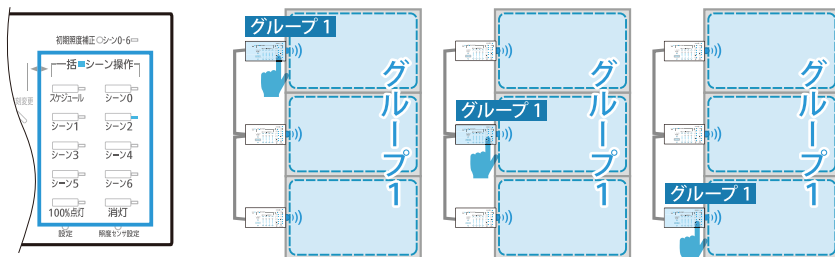
基本的な使用方法

コネクトモード・グループ1



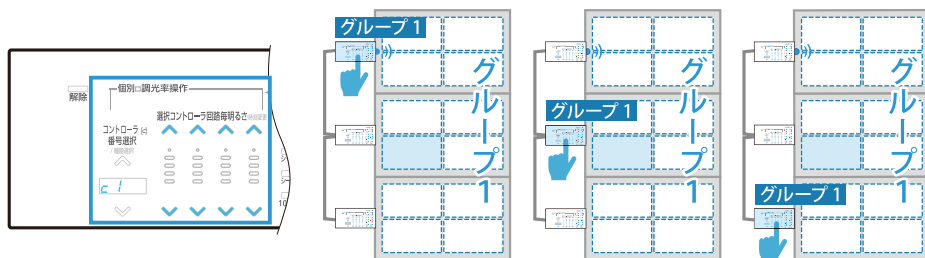
操作パネル右側 一括シーン操作

どのコントローラを操作しても、呼び出し命令は接続された「同一グループ」（本ケースではグループ1）の全コントローラに行われます。



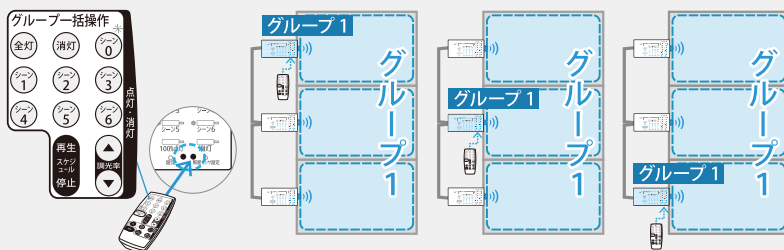
操作パネル左側 個別調光率操作

どのコントローラからでも、接続された「同一グループ」（本ケースではグループ1）に属する任意のコントローラにおける特定の回路を選定して、個別に調節できます。



コンパクトリモコンでのグループ一括呼び出し操作

コンパクトリモコンのグループ一括操作は、どのコントローラを操作しても接続された「グループ1」に属する全コントローラに対し行われます。



コンパクトリモコン (MS201) は「グループ1」のコントローラのみを一括で操作することができます。

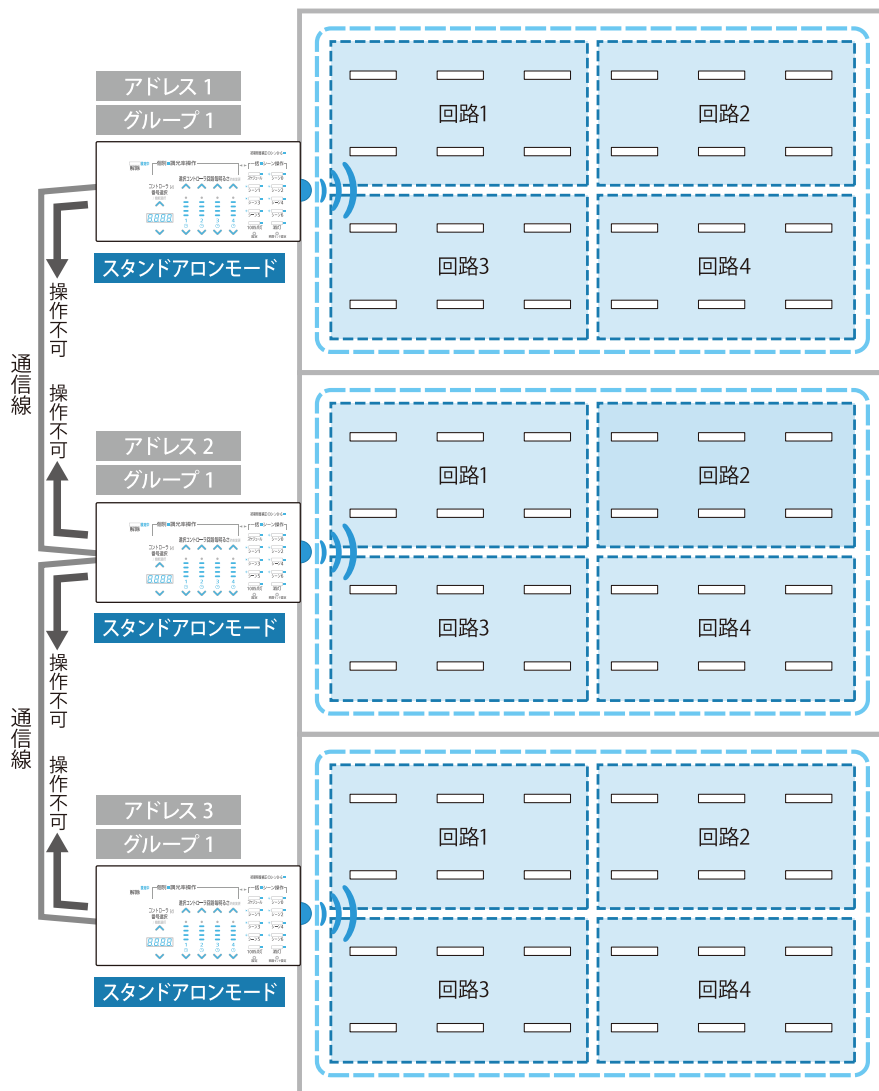
「スタンドアロンモード」使用の操作例

「スタンドアロンモード」(p.27「拡張設定」)を使用することで、操作の対象を自コントローラのみとすることができます。

複数の壁付コントローラ

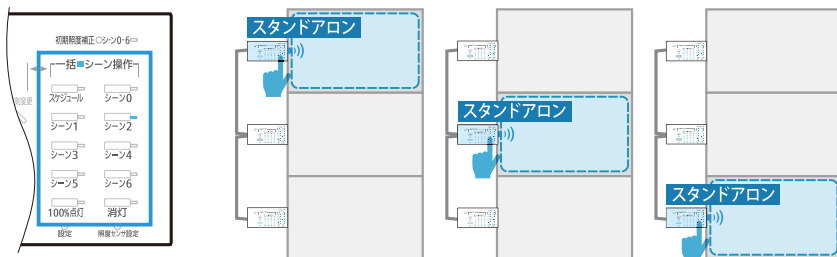
応用的な使用例1

「スタンドアロンモード」使用例



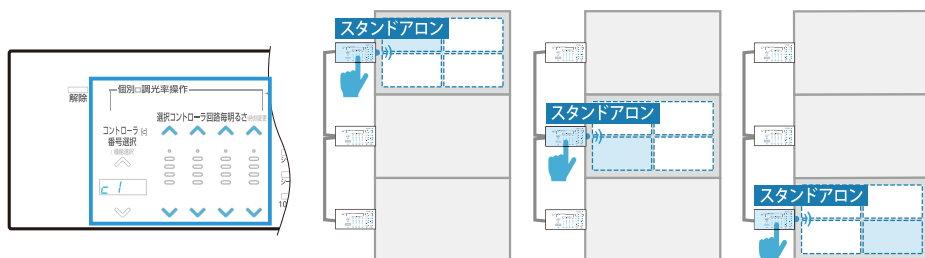
操作パネル右側 一括シーン操作

呼び出し命令はそれぞれのコントローラ対象器具のみに行われます。
接続された他のコントローラは操作できません。



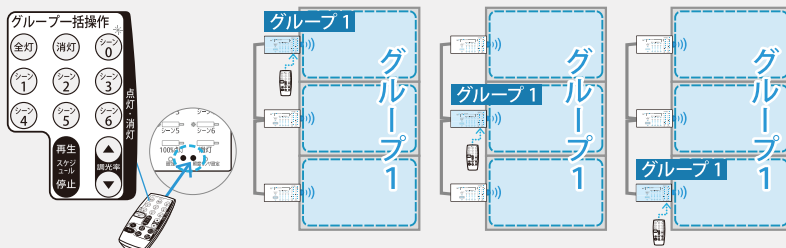
操作パネル左側 個別調光率操作

自コントローラにおける特定の回路を選定して、個別に調節できます。
接続された他のコントローラは操作できません。



コンパクトリモコンでのグループ一括呼び出し操作

スタンダアロンモードであってもコンパクトリモコンのグループ一括操作は、どのコントローラを操作しても接続された「グループ1」に属する全コントローラに対し行われます。



コンパクトリモコン (MS201) は「グループ1」のコントローラのみを一括で操作することができます。

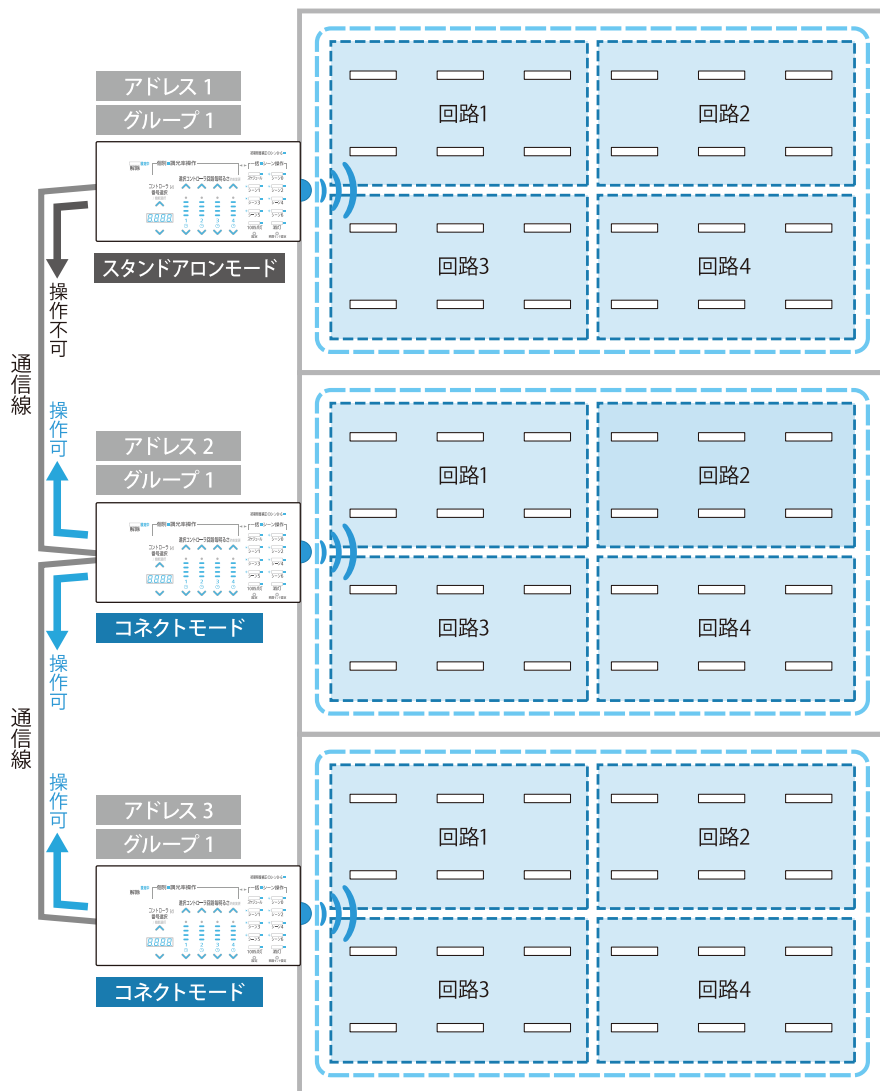
「スタンドアロンモード」「コネクトモード」併用の操作例

「スタンドアロンモード」と、「コネクトモード」(p.27「拡張設定」)を併用することで、片務的な操作を行うことができます。

複数の壁付コントローラ

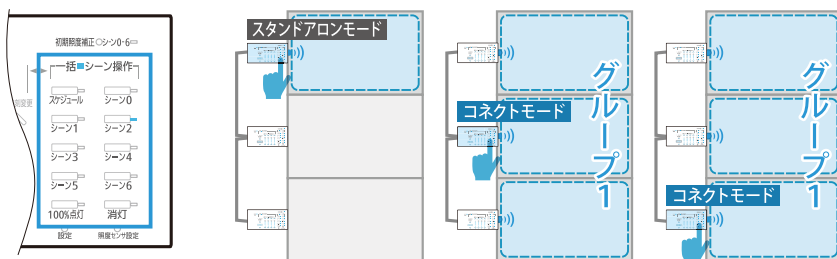
応用的な使用例2

「スタンドアロンモード」
「コネクトモード」併用例



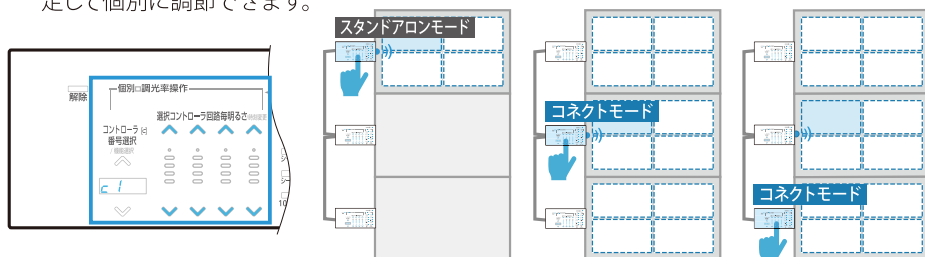
操作パネル右側 一括シーン操作

スタンドアロンモードでは自コントローラのための、コネクモードでは接続された「同一グループ」(本ケースはグループ1)の全コントローラの、対象器具に対し呼び出し命令を行います。



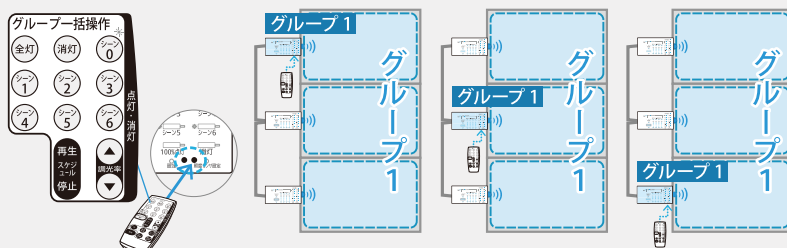
操作パネル左側 個別調光率操作

スタンドアロンモードでは自コントローラのみにおける、コネクモードでは接続された「同一グループ」(本ケースはグループ1)に属する任意のコントローラにおける、特定の回路を選択して個別に調節できます。



コンパクトリモコンでのグループ一括呼び出し操作

スタンドアロンモードであってもコンパクトリモコンのグループ一括操作は、どのコントローラを操作しても接続された「グループ1」に属する全コントローラに対し行われます。



コンパクトリモコン (MS201) は「グループ1」のコントローラのみを一括で操作することができます。

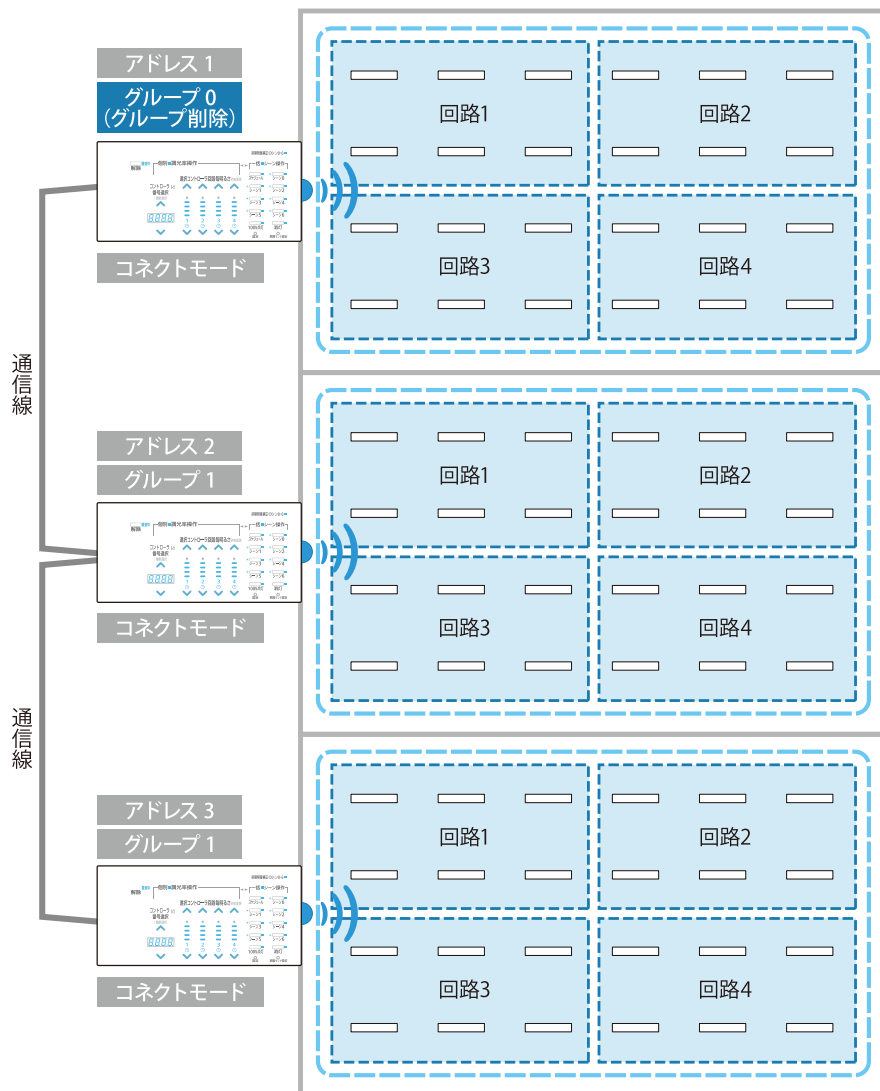
■「グループ」使用の操作例

コンパクトリモコン (MS201) を使用してコントローラを「グループ0」(グループ削除) に設定すると「グループ一括操作」の対象から外すことができます。

複数の壁付コントローラ

応用的な使用例3

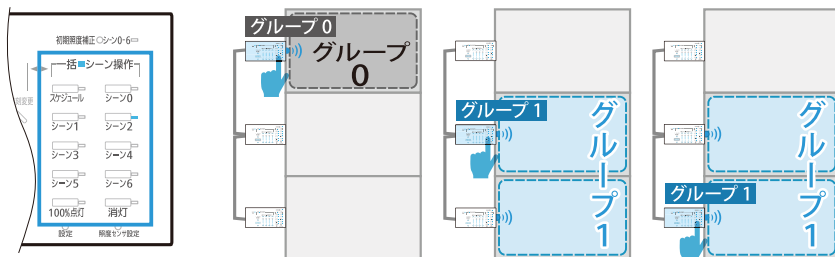
グループ0(グループ削除) 使用例



操作パネル右側 一括シーン操作

どのコントローラを操作しても、呼び出し命令は接続された「同一グループ」（本ケースではグループ1）の全コントローラに行われます。

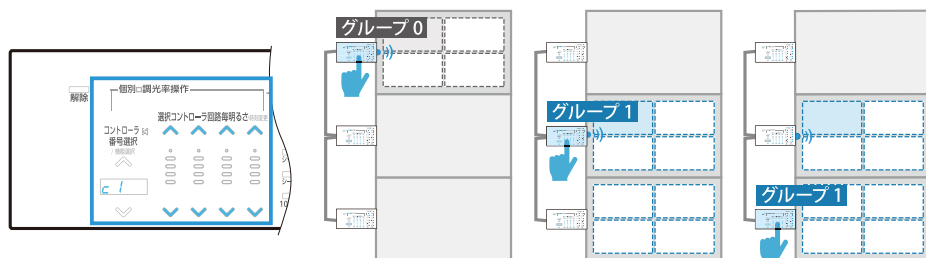
グループ0（グループが削除された状態）では、自コントローラのみが操作対象となります。



操作パネル左側 個別調光率操作

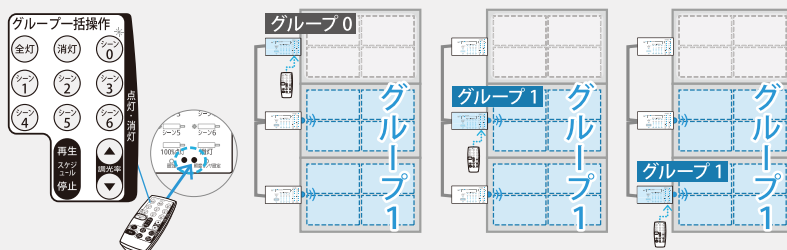
どのコントローラからでも、接続された「同一グループ」（本ケースではグループ1）に属する任意のコントローラにおける特定の回路を選定して、個別に調節できます。

ただし、グループ0（グループが削除された状態）では、自コントローラのみが操作対象となります。



コンパクトリモコンでのグループ一括呼び出し操作

コンパクトリモコンのグループ一括操作は、どのコントローラを操作しても、接続された「グループ1」に属する全コントローラに対し行われます。



コンパクトリモコン（MS201）は「グループ1」のコントローラのみを一括で操作することができます。

複数の壁付コントローラ

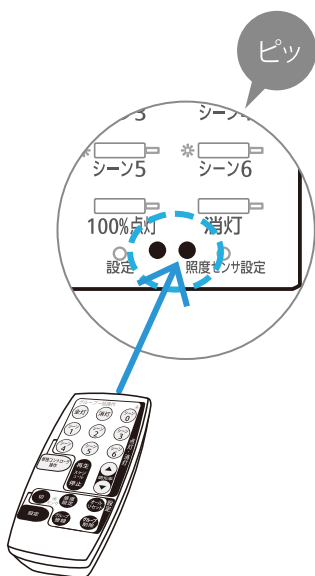
応用的な使用例3

グループ0(グループ削除)使用例

■グループ登録(グループ1 設定) グループ削除(グループ0 設定)の方法

グループ登録(グループ1 設定)

コンパクトリモコン(MS201)を
壁付コントローラの受信部に向け



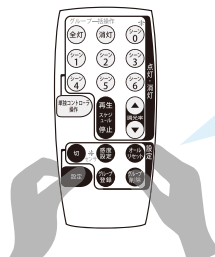
設定 を先に押しながら

グループ登録 を押す

2つのボタンを3秒以上押し続けると送信され、受信コントローラから「ピッ」と音がします。

グループ削除(グループ0 設定)

コンパクトリモコン(MS201)を
壁付コントローラの受信部に向け



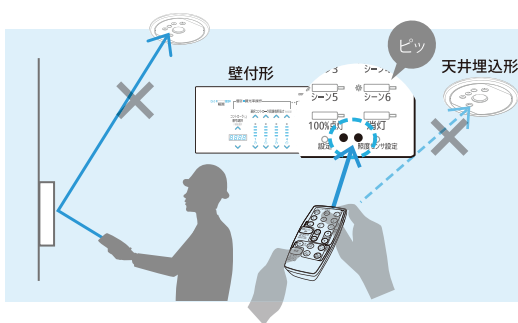
設定 を先に押しながら

グループ削除 を押す

2つのボタンを3秒以上押し続けると送信され、受信コントローラから「ピッ」と音がします。



おねがい



同室内のコントローラに赤外線信号が届き、対象とするコントローラと同時に他のコントローラが受信することがあります。その場合、対象となるコントローラのみが作動するように遮光などを行ってください。

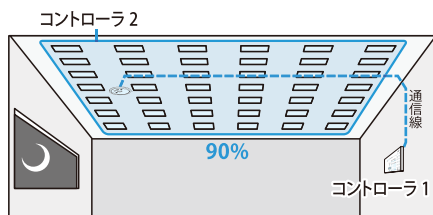
■照度センサの感度設定方法

本ガイドでは「照度センサ感度設定」(p.27)に おすすめする明るさ設定方法を掲載していますが、ここでは二種類の異なる感度設定方法について解説します。

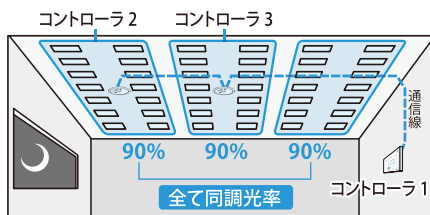
シーン：全コントローラが同じ調光率

コンパクトリモコン・壁付形で設定

A **B** の場合、コンパクトリモコン (MS201) を使い「照度センサ感度設定」(p.28) 手順での設定をおすすめします。また、照度センサ付コントローラに接続された壁付形コントローラからも感度設定を行うことができます。



A 照度センサ付コントローラ1台のみで照明器具を調光運用し、壁付形には照明器具が接続されていない場合



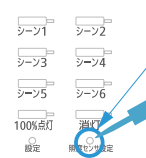
B 部屋に複数の照度センサ付コントローラがあるが、明るさ一定運転を行うシーンで、コントローラの調光率が、全て同じ場合。

壁付形コントローラの「照度センサ設定」ボタンを長押しします

ボタンが押されると全てのコントローラが全回路100%点灯した状態となり、感度設定がされます。この明るさが各シーンの明るさ一定運転時の基準となります。



「設定」ボタンは精密ドライバー等、先の細いもので押してください。



シーン例	コントローラ1	コントローラ2	コントローラ3
シーン 1	100%	100%	100%
シーン2	80%	80%	80%
シーン3	60%	60%	60%
...

<明るさ一定運転が目標とする明るさ>

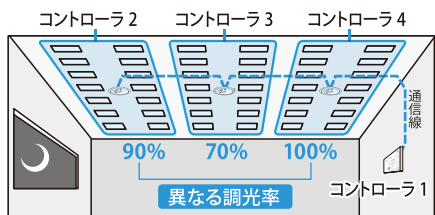
- … 感度設定時と同じ明るさ(100%)を目標とします。
- … 感度設定を行った明るさの、80%を目標とします。
- … 感度設定を行った明るさの、60%を目標とします。

※明るさ一定運転の目標には、各コントローラ「回路1」の調光率が使用されます。
※別途上限調光率、下限調光率が定められているときは、その限度範囲で調光運転します。

シーン：各コントローラが異なる調光率

コンパクトリモコンで設定

C の場合、壁付形コントローラから感度設定を行う事はできません。コンパクトリモコン (MS201) を使い「照度センサ感度設定」(p.28) の手順で設定してください。



C 部屋に複数のコントローラがあり、明るさ一定運転を行うシーンで、各コントローラの調光率が異なる場合。



明るさ一定運転は「シーン0」のみで実行できます。

ローカル自動調光システム

MILCO.S[®] [ワイヤレスタイプ]

コンセント式壁付コントローラ

三菱電機株式会社

製造会社 三菱電機照明株式会社

〒 247-0056 神奈川県鎌倉市大船2-14-40 <http://www.MitsubishiElectric.co.jp/group/mlf/>

2017年8月作成